

# 第6次青梅市総合長期計画実施計画

## 令和2年度取組状況報告書

みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅

— ゆめ ・ うめ ・ おうめ —

青 梅 市



## 目次

本報告書について	1
第1章 安全で快適に暮らせるまち	2
第2章 自然と共生し環境にやさしいまち	12
第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち	18
第4章 文化・交流活動がいきづくまち	26
第5章 みんなが元気で健康なまち	32
第6章 福祉が充実したまち	36
第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち	42
第8章 都市基盤が整う魅力あるまち	50
第9章 みんなが参画し協働するまち	58
第10章 持続的な行財政運営ができるまち	62
重要業績評価指標(KPI)の進ちょく状況	66
施策連動型のしくみ	67



## 本報告書について

第6次青梅市総合長期計画の実施計画は、総合長期計画の基本計画に掲げた諸施策にもとづいて取り組む主要事業について、3か年の年次計画を明らかにし、毎年度の予算編成や事務執行の指針とするものです。

本報告書では、実施計画に掲げた事業（青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業も含む）について、令和2年度の取組状況をまとめています。

なお、第6次青梅市総合長期計画で掲げたまちづくりの指標および第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した重要業績評価指標（KPI）についても、把握できる最新の値にもとづいて、とりまとめています。

### 各事業の取組状況 記載例

・令和2年度事業計画の取組状況について、簡潔にまとめて記載。  
(事業費を千円単位で記載)

・令和2年度事業の成果について、簡潔にまとめて記載。

事業番号	2-8	事業名	ごみの排出抑制と資源化推進事業
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量推進運動</li> <li>・集団回収の推進</li> <li>・広報等ごみ減量啓発</li> </ul>		レジ袋有料化を踏まえ、啓発用エコバックを5,680個作成するとともに、集団回収の推進、広報等によるごみ減量啓発を行った。新たに外国語版青梅市ごみの出し方リーフレットを作成した。(41,406千円)	ごみ減量や分別の啓発を行うとともに、地域の集団回収を推進した。これにより、市民のごみ減量と資源化への意識を高めることができた。

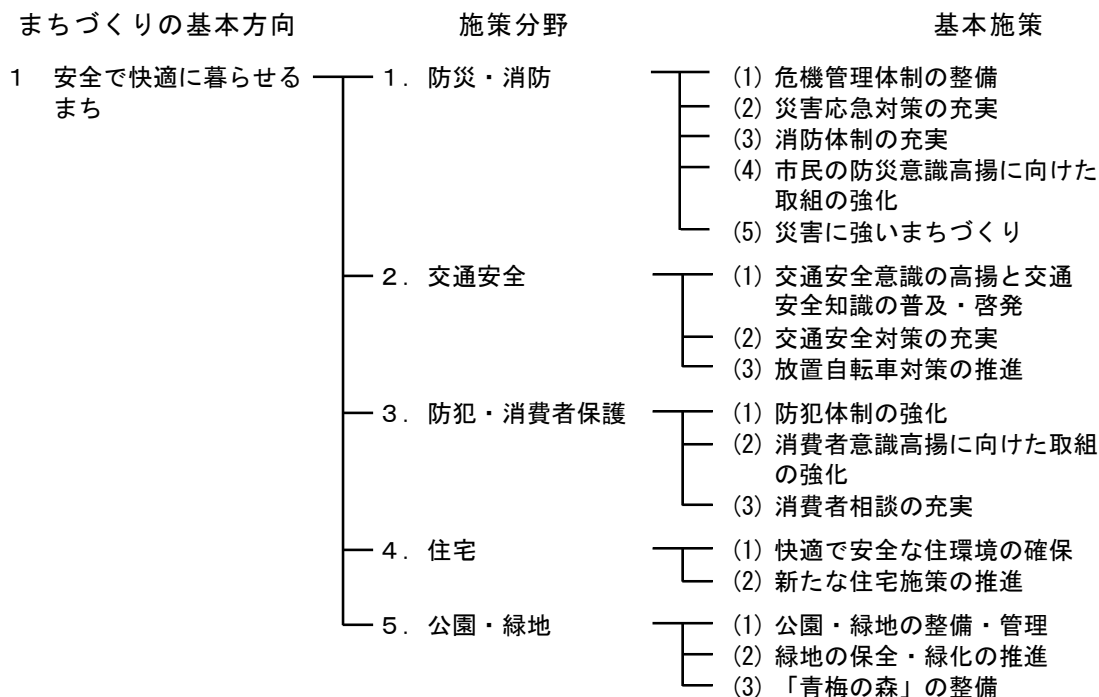
※事業概要、事業の推進目標、事業費は別冊「第6次青梅市総合長期計画実施計画（令和2年度～令和4年度）」（令和2年3月作成）で確認できます。

### まちづくりの指標・重要業績評価指標（KPI） 記載例

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
1人1日当たりの燃やすごみ排出量	g	593	567	562	510
		H15. 3. 31	H25. 3. 31	R3. 3. 31	R5. 3. 31

# 第1章 安全で快適に暮らせるまち

## 【施策の展開】



## 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
総合防災訓練・各地区防災訓練の参加者数	人	5,209	4,419	0	6,200
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
計画期間中における土砂災害対応訓練・水防訓練の延べ参加者数	人	—	629	6,202	5,300
		—	H24	H25～R2	H25～R4
家具転倒防止器具等助成事業にかかる支給率	%	2.36	13.84	15.77	20.00
		H22.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R2.3.31
火災発生件数	件	68	63	44	0
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
交通事故による年間の死傷者数	人	1,209	791	353	半減
		H14	H24	R2	R4
みどり率	%	80.9	80.3	79.6	80.3
		H15	H20	H30	R5

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 防災・消防			
1-1	青梅市地域防災計画の修正	(1)	
1-2	業務継続計画の推進	(1)	
1-3	避難所機能の強化	(2)	
1-4	消防団の充実	(3)	●
1-5	消防機材等の整備	(3)	
1-6	市民防災ハンドブックの活用推進	(4)	
1-7	土砂災害対策の充実	(4)	
1-8	地区防災計画の推進	(4)	●
1-9	避難行動要支援者支援対策の推進	(4)	
1-10	防災リーダーの育成	(4)	●
1-11	家具転倒防止器具等支給取付事業	(4)	
1-12	防災行政無線の整備	(5)	
2. 交通安全			
1-13	青梅交通安全協会の活動支援	(1)	
3. 防犯・消費者保護			
1-14	安全・安心な学校づくりの推進事業	(1)	●
1-15	消費者保護の充実	(3)	
4. 住宅			
1-16	市営住宅長寿命化計画の推進	(1)	
1-17	課題のある市営住宅の撤去事業	(1)	
1-18	木造戸建住宅耐震化事業	(1)	
1-19	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業	(1)	
1-20	新たな住宅施策の推進	(2)	●
1-21	空家対策事業	(2)	●
5. 公園・緑地			
1-22	公園施設長寿命化計画の推進	(1)	
1-23	釜の淵緑地の整備	(1)	
1-24	緑の基本計画の推進	(2)	
1-25	青梅の森事業計画の推進	(3)	

事業番号	1-1	事業名	青梅市地域防災計画の修正	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の推進・検証 (必要に応じて修正)</li> </ul>		災害対策基本法の改正、東京都地域防災計画の修正内容の反映、感染症対策などについて確認し、修正作業を進めた。 (0円)		災害対策基本法や都地域防災計画などを踏まえた修正作業を進めた。

事業番号	1-2	事業名	業務継続計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務継続計画にもとづく訓練、検証</li> <li>・計画の見直し、修正</li> </ul>		業務継続計画を検証し、本市における現状を踏まえた修正案の検討を実施し、大幅改定に向けた準備を進めた。 (0円)		組織改正に伴う組織名および業務内容の変更、確認および検証を進めた。また、計画された業務のうち、97%が縮小・休止する業務であったことから、継続すべき業務の内容整理を図った。

事業番号	1-3	事業名	避難所機能の強化	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄食料の購入</li> <li>・応援協定の拡充</li> <li>・特設公衆電話の設置</li> </ul>		備蓄食料の入替えを行うとともに、新たに風水害時配布用の備蓄食料を購入した。民間企業との災害時応援協定の協議を行った。特設公衆電話の設置については10箇所の整備を行った。 (8,223千円)		新たに風水害時用の備蓄食料を購入するとともに、市内避難所10箇所に特設公衆電話を事前設置にしたことにより、災害対応の充実を図った。

事業番号	1-4	事業名	消防団の充実	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性団員、機能別団員、協力事業所制度の運用</li> <li>・健康診断の実施</li> </ul>		女性団員および機能別団員制度の運用ならびに協力事業所制度の運用や健康診断を実施した。 (1,100千円)		3名の機能別消防団員の入団があり、火災に対しても、各部機能別団員も基本団員とともに活動した。また、45名の団員が健康診断を受診し、団員の健康増進を図った。



事業番号	1-5	事業名	消防機材等の整備	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ポンプ更新</li> <li>・消防団器具置き場耐震診断実施</li> <li>・無線機賃貸借</li> </ul>		老朽化した小型動力ポンプ2台を更新した。 消防団器具置き場の耐震診断を行った。 消防団デジタル無線の賃貸借を行った。 (7,994千円)		小型動力ポンプ2台を更新し、消防力の向上を図ったほか、耐震診断の結果、耐震補強の必要がないことを確認した。デジタル無線およびデジタル簡易無線を活用し、円滑な団活動の運用を図った。

事業番号	1-6	事業名	市民防災ハンドブックの活用推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民防災ハンドブックの周知・活用</li> <li>・転入者への配付</li> </ul>		令和元年度に、防災ハンドブックの大幅な見直しを行い、全戸配布したことから、本年度は、市HP、広報おうめ、出前講座等で、活用方法などの周知・啓発を図った。また、転入者への配布を行った。(0円)		市HP、広報おうめ、出前講座等により、ハザードマップの確認などで活用するよう周知・啓発を図り、住民の防災意識の向上を図った。

事業番号	1-7	事業名	土砂災害対策の充実	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害対応訓練の実施</li> </ul>		東青梅地区を対象に、土砂災害対応訓練として、災害対策本部運営訓練、自主避難訓練および要配慮者安否確認訓練等の実施を計画した。 (0円)		新型コロナウイルス感染防止のため、土砂災害対応訓練の実施は見送った。消防団および消防署と、図上訓練・通信訓練を上半期・下半期に各2回実施し、実災害への連携力を強化した。

事業番号	1-8	事業名	地区防災計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区防災計画にもとづく訓練、検証</li> <li>・計画の見直し、修正</li> </ul>		新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、地区防災計画にもとづいた訓練が実施できなかったことから、ハザードマップの確認、備蓄の見直しなど、個人が在宅でできる訓練の実施を推進した。(0円)		新型コロナウイルス感染防止のため、個人が在宅でできる訓練を促進した。また、非常用電源等資機材配備および自主避難施設環境整備により、各地区の強化を図った。

事業番号	1-9	事業名	避難行動要支援者支援対策の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者の抽出</li> <li>・同意確認</li> <li>・協力依頼</li> <li>・支援体制構築</li> </ul>		対象者の抽出および名簿情報提供に関する意思確認を進め、避難行動要支援者名簿を更新した。名簿登録数は災害時で11,811人、平常時で7,410人となった。 (2,078千円)		名簿を避難支援等関係者に提供し、避難支援の取組の促進を図った。土砂災害警戒区域内に居住している者を抽出し、名簿情報を共有した。

事業番号	1-10	事業名	防災リーダーの育成	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの育成</li> <li>・防災リーダー講習会の実施</li> </ul>		各自主防災組織（市内11組織）における防災リーダーの育成を目的として、防災士の資格取得の促進を実施した。 (190千円)		新たに3名の方が防災士の資格を取得した。防災リーダー講習会等については、新型コロナウイルス感染防止のため開催を見送った。一部の地区では防災士と連携し、地域防災力の向上を図った。

事業番号	1-11	事業名	家具転倒防止器具等支給取付事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・器具等の支給および取付け</li> </ul>		立川断層帯地震の際に震度6強以上の揺れが想定されている区域、市内全域の高齢者および障がい者世帯を対象に家具転倒防止器具等の支給および取付を実施した。 (923千円)		54世帯に家具転倒防止器具等の支給および取付を実施した。震災時における家具転倒による被害の軽減を図った。（支給率15.77%）

事業番号	1-12	事業名	防災行政無線の整備	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別簡易受信システムの構築</li> <li>・維持管理</li> </ul>		土砂災害警戒区域内の難聴地区対策として、簡易受信機システムを整備した。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、対象者に支給する簡易受信機の確保をすることができた。(14,595千円)		土砂災害警戒区域内の難聴地区対策として、簡易受信機システムによる受信環境を市内20箇所に整備した。また、トランシーバーを貸与し、防災行政無線の内容を聴くことが可能となった。

事業番号	1-13	事業名	青梅交通安全協会の活動支援	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全意識の普及、啓発</li> <li>街頭指導等への支援</li> </ul>		秋の交通安全運動および交通安全日に啓発活動を行った。また、奥多摩溪谷駅伝大会の運営に協力するとともに、交通事故等による緊急出動を行った。 (5,385千円)		交通安全意識の普及・啓発のため、街頭で指導・啓発により、交通安全意識の普及、啓発を行うことができた。

事業番号	1-14	事業名	安全・安心な学校づくりの推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路防犯カメラ増設</li> <li>子ども110番の家の整備</li> <li>防犯ブザーの給付</li> </ul>		通学路防犯カメラを増設した。子ども110番の家を継続し、登録者アンケートを実施した。新小学校1年児童へ防犯ブザー等の給付、自転車通学生徒へヘルメットを給付、青色防犯パトロールを実施した。(12,218千円)		防犯カメラの増設により、安全・安心の強化が図れた。新小学校各種給付により登下校時の安全対策が図られた。子ども110番の家登録者へのアンケートにより駆け込み事例の把握ができた。

事業番号	1-15	事業名	消費者保護の充実	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者相談の実施</li> <li>消費生活相談員のスキルアップ</li> <li>特殊詐欺等消費者被害防止</li> </ul>		消費者相談の実施および消費生活相談員がスキルアップのため、各種研修へ参加した。また、特殊詐欺被害防止機器の貸与等、消費者被害の防止を図った。 (4,069千円)		コロナ禍においても相談窓口を継続し、消費生活相談員の研修等により、相談体制の充実、スキルアップを図った。啓発チラシ等の配布や自動通話録音機の貸与により、消費者被害防止につなげた。

事業番号	1-16	事業名	市営住宅長寿命化計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>藤橋第1・2住宅外壁、電気設備等工事</li> </ul>		藤橋第1・2住宅の外壁、電気設備に関する改修工事を実施した。 (77,312千円)		改修工事により、住宅機能、耐久性および居住性が向上した。

事業番号	1-17	事業名	課題のある市営住宅の撤去事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住者との交渉</li> <li>・4戸の移転</li> </ul>		用途廃止予定住宅の入居10世帯に対し移転を促した。 (342千円)		用途廃止予定住宅の入居2世帯が移転に応じ転居した。

事業番号	1-18	事業名	木造戸建住宅耐震化事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断補助 8件</li> <li>・耐震改修補助 4件</li> </ul>		木造住宅の耐震化や補助制度について広報等で周知を図り、耐震診断4件に対し補助金を交付した。 (215千円)		木造戸建住宅の耐震化を図ることにより安全性の向上に貢献した。

事業番号	1-19	事業名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強設計補助 1件</li> <li>・耐震改修補助 2件</li> <li>・ブロック塀等の改修補助</li> </ul>		東京都が指定する特定緊急輸送道路沿道建築物の所有者に対し、耐震化への説明・啓発等を行い、耐震改修補助金1件の交付を行った。 (36,305千円)		特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の必要性について、所有者の理解を深めた。耐震改修が1件実施され、市内にある特定緊急輸送道路沿道建築物の未耐震化物件数は17件へと減少した。

事業番号	1-20	事業名	新たな住宅施策の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者による情報交換・協議等</li> </ul>		住宅施策推進協議会を3回開催し、民間事業者と連携しながら、新たな住宅施策について検討を行った。また、住宅なんでも相談会、定例住宅相談会を計5回開催した。 (70千円)		新型コロナウイルス感染症の影響により、協議会実施回数が減少したが、新たな事業を実施する上での課題を見出すことができた。また、相談会等の実施により、市民の住宅問題の解決に寄与した。

事業番号	1-21	事業名	空家対策事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家バンク促進</li> <li>・改修補助の実施</li> <li>・データ更新</li> <li>・空家実態調査</li> </ul>	<p>空家等対策計画にもとづき、空家対策を実施した。空家バンクについては1件成約となった。また、令和3年度の空家等対策計画の改定に向け、空家等実態調査を実施した。</p> <p>(6,577千円)</p>		<p>管理不全な空家等の所有者に対する措置により、特定空家1件が解消されたとともに、空家バンクで1件成約がなされ、空家問題の解決に繋がった。また、実態調査により、現況を把握した。</p>

事業番号	1-22	事業名	公園施設長寿命化計画の推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園施設の改築等</li> </ul>	<p>公園施設長寿命化計画にもとづき、老朽化した公園施設の更新および修繕等を実施した。複合遊具、遊具の一部更新、健康遊具（10基）。ロックング遊具（11基）。部品交換、塗装の実施。（34,955千円）</p>		<p>公園施設長寿命化計画にもとづき、利用者ニーズを考慮した遊具の更新・整備等を実施し、安全性の確保と、美観の保全・向上による快適な空間の提供など、環境の改善を図ることができた。</p>

事業番号	1-23	事業名	釜の淵緑地の整備
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画の検討</li> </ul>	<p>青梅市公共施設等総合管理計画の進捗状況との整合を考慮しつつ、釜の淵エリア活用検討委員会を設置し、庁内での調整を図った。</p> <p>(0円)</p>		<p>釜の淵エリアの利活用検討に向け、庁内での調整を図り、当該エリアの利活用にかかる方向性を整理した。</p>

事業番号	1-24	事業名	緑の基本計画の推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内連絡委員会の開催</li> <li>・計画の推進および進行管理</li> </ul>	<p>計画に即するよう「青梅市みどりの連絡委員会」設置要綱にもとづき、連絡委員会を開催し、計画の推進および進行管理を行った。</p> <p>(0円)</p>		<p>取組状況調査、みどりに関する庁内所有データを収集し、連絡委員会を開催した。それぞれの計画に対する進捗状況や、問題点の認識を深め、今後の計画推進に役立てることができた。</p>

事業番号	1-25	事業名	青梅の森事業計画の推進
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観整備伐採</li> <li>・ 生物多様性保全</li> <li>・ 運営協議会</li> </ul>		<p>青梅の森事業計画にもとづき、害虫病防除、自然環境調査、外来種対策の保全事業および景観整理伐採の整備事業等に取り組んだほか、青梅の森運営協議会等を開催した。</p> <p style="text-align: center;">(22,175 千円)</p>	<p>保全面では、自然環境調査、外来種対策等を実施し青梅の森の自然環境の保全に努めた。整備面では、幹線通路沿いの間伐等を行うことで、青梅の森周辺の安全の確保を図った。</p>



## 第2章 自然と共生し環境にやさしいまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
森林再生事業による間伐と 枝打ちの促進	ha	80.70	861.43	991.62	1,855
		H15.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31
多摩川の水質汚濁度 (BOD※)	mg/l	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.8	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
1人1日当たりの燃やすご み排出量	g	593	567	562	510
		H15.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31
公共施設による太陽光発電 能力	kW	30	40	291.64	1,000
		H22.7	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31

※BODとは、生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)のことで、微生物が、水中の有機物を二酸化炭素や水などに分解するため必要とする酸素の量です。河川の汚濁の度合いを示す代表的な数値であり、生活環境の保全に関する環境基準では、御岳橋で1mg/l以下、多摩川橋で2mg/l以下とされています。



**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 森林			
2-1	森林整備事業	(1)	●
2-2	森林ボランティア育成事業	(2)	●
2. 水辺環境			
2-3	親水施設整備事業	(1)	
2-4	親水事業の推進	(2)	
3. 生活環境			
2-5	飼い主のいない猫対策事業	(1)	
2-6	環境基本計画の推進	(1)	
4. 循環型社会			
2-7	生ごみ堆肥化推進事業	(1)	
2-8	ごみの排出抑制と資源化推進事業	(1)	
2-9	ごみ減量講座と施設見学会事業	(1)	
2-10	リサイクルセンター改良事業	(2)	
2-11	新エネルギー利用等促進事業	(3)	

事業番号	2-1	事業名	森林整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・間伐および枝打ちの実施		間伐 65.76ha、枝打ち 11.53ha を実施した。 (70,246 千円)		スギ、ヒノキの人工林に対して、3割の間伐を実施するとともに、すでに本事業で間伐を行った森林を対象に、枝打ちを行うことで適切な森林整備を進めた。

事業番号	2-2	事業名	森林ボランティア育成事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・第10期講座を1年で10回実施する。		森林ボランティア育成講座を8回実施し、延べ134人が受講した。（緊急事態宣言発出に伴い、2回中止） (1,248 千円)		座学、下刈り、間伐、炭焼き、枝打ち等を実施し、森林ボランティアの育成に努め、22人のボランティアを育成することができた。

事業番号	2-3	事業名	親水施設整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・利活用の検討 ・基本構想等の検討		親水施設の整備、検討についての方向性について、研究、課題整理等を行った。また、釜の淵公園周辺の利活用をさらに深度下するため、釜の淵エリア活用検討委員会を設置した。 (0 千円)		釜の淵公園周辺の利活用について、民間企業と意見交換を行うなど、関係課と協力し検討を行うことで、今後の方向性や課題等、共通認識を図ることができた。

事業番号	2-4	事業名	親水事業の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・体験型および学習型事業の実施		事業実施各団体と協議の結果、事業は中止することとした。次年度にむけ、オンラインでの実施等、感染リスクのない形式での開催を検討した。 (0 千円)		オンラインでの学習事業実施を検討したことにより、令和3年度におけるオンラインでの事業実施の目処をつけることができた。

事業番号	2-5	事業名	飼い主のいない猫対策事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・猫対策事業の補助金交付</li> <li>・協働での里親会</li> <li>・無料不妊手術事業参加</li> </ul>		新型コロナウイルス感染拡大防止のため市によるイベントの開催は中止したが、市民団体主催の里親会を後援した。また、飼い主のいない猫対策を実施しているボランティア団体に対し補助金を交付した。(252千円)		市民団体主催の里親会の後援、さくらねこ無料不妊手術事業を実施し、猫の譲渡事業を行う市民団体を支援し、飼い主のいない猫対策事業を推進できた。

事業番号	2-6	事業名	環境基本計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画の推進</li> <li>・生物多様性地域戦略の推進</li> </ul>		計画にもとづく各種施策を推進するとともに、環境審議会、環境連絡会を開催した。また、生物多様性地域戦略にもとづき、外来種等の調査および駆除を実施した。 (2,387千円)		外来生物について、アライグマ50件、ハクビシン1件の駆除を実施し、外来生物に対する市民の不安軽減を図ることができた。

事業番号	2-7	事業名	生ごみたい肥化推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会の実施</li> <li>・ダンボールコンポストの啓発</li> </ul>		広報やホームページを活用し、生ごみたい肥化の普及・啓発を行った。 (0千円)		広報やホームページで、生ごみの減量やリサイクルについての啓発を行い、生ごみの資源循環を促進し、燃やすごみの減量を進めた。

事業番号	2-8	事業名	ごみの排出抑制と資源化推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量推進運動</li> <li>・集団回収の推進</li> <li>・広報等ごみ減量啓発</li> </ul>		レジ袋有料化を踏まえ、啓発用エコバックを5,680個作成するとともに、集団回収の推進、広報等によるごみ減量啓発を行った。新たに外国語版青梅市ごみの出し方リーフレットを作成した。(41,406千円)		ごみ減量や分別の啓発を行うとともに、地域の集団回収を推進した。これにより、市民のごみ減量と資源化への意識を高めることができた。

事業番号	2-9	事業名	ごみ減量講座と施設見学会事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座の実施</li> <li>・ 講演会の実施</li> <li>・ 施設見学会の実施</li> </ul>		<p>ごみの分別や減量化の意識向上のため、第四小学校および藤橋小学校で出前講座を実施し、2校合計95人が参加した。</p> <p>(0千円)</p>		<p>出前講座を実施することで、市内の児童にごみ減量や分別、リサイクルについての啓発を行うことができた。</p>

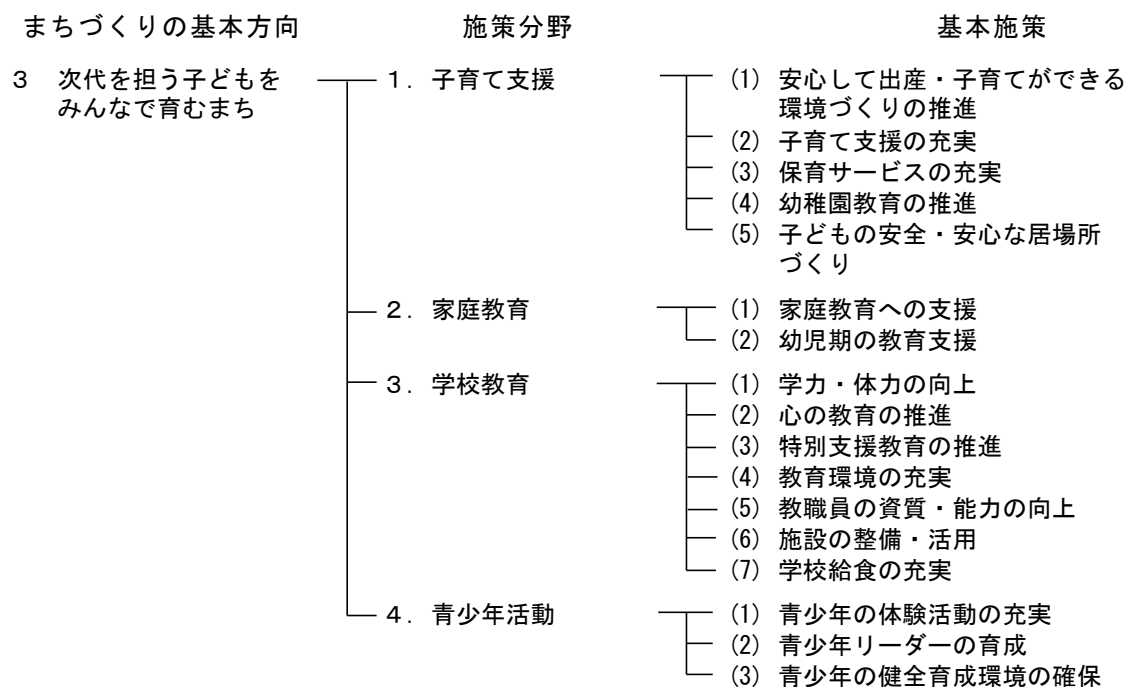
事業番号	2-10	事業名	リサイクルセンター改良工事	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器包装プラスチック処理ライン設置工事</li> <li>・ 工事監理委託</li> <li>・ 長寿命化総合計画策定</li> </ul>		<p>容器包装プラスチック処理ラインを新設したほか、令和15年度を目標年度とし、施設全体の延命化を図るため、長寿命化総合計画を策定した。</p> <p>(99,564千円)</p>		<p>容器包装プラスチック処理ラインの新設により、ごみを別々に処理でき効率的な運用が可能になった。長寿命化総合計画を策定し、施設全体の計画的な延命化を図ることが可能になった。</p>

事業番号	2-11	事業名	新エネルギー利用等促進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設の屋根貸し事業の実施</li> <li>・ 木質バイオマスの調査研究</li> </ul>		<p>公共施設の屋根貸し事業を実施した。木質バイオマスに関する情報収集を行った。新エネルギー活用に関する自治体間ネットワーク会議に参加した。</p> <p>(0千円)</p>		<p>屋根貸し事業については、2事業者で合計5施設において実施し、再生可能エネルギーの利用促進を図った。</p> <p>自治体間ネットワーク会議にて、情報収集を図ることができた。</p>



## 第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
保育所待機児童数	人	161	19	2	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	R3. 4. 1	R5. 4. 1
学童保育所待機児童数	人	65	41	70	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	R3. 4. 1	R5. 4. 1
放課後子ども教室(タヤケランド)の実施校数	校	1	6	16	16
		H20. 3. 31	H25. 3. 31	R3. 4. 1	R4. 3. 31

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 子育て支援			
3-1	子ども・子育て支援事業計画の推進	(1)	
3-2	子育て支援事業	(2)	●
3-3	子育て世代包括支援事業	(2)	●
3-4	ファミリー・サポート・センター事業	(2)	
3-5	学童保育事業	(3)	●
3-6	短期臨時学童保育事業	(3)	●
3-7	保育所等施設整備事業	(3)	●
3-8	放課後子ども教室事業	(5)	●
2. 家庭教育			
3-9	家庭教育啓発事業	(1)	
3. 学校教育			
3-10	学力向上事業	(1)	●
3-11	学びと心の育成事業	(1)	
3-12	児童生徒の学校適応体制の充実	(2)	
3-13	特別支援教育事業	(3)	
3-14	学校教材・備品の整備	(4)	
3-15	教育の情報化推進事業	(4)	●
3-16	小・中学校校舎トイレ改修事業	(6)	
3-17	小・中学校特別教室等空調整備事業	(6)	
3-18	学校施設の個別施設計画事業	(6)	
3-19	調理場統合の検討	(7)	
4. 青少年活動			
3-20	体験活動の充実	(1)	●
3-21	若者の自立等支援事業	(3)	
3-22	青少年健全育成事業	(3)	●

事業番号	3-1	事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議の開催（年5回）</li> <li>・ 事業の推進</li> <li>・ 事業の検証</li> </ul>		青梅市子ども・子育て会議を3回開催し、検証結果を報告するとともに、特定教育・保育施設の利用定員の設定について2件諮問し、施設型給付幼稚園への移行や利用定員の変更を行った。（379千円）		計画の事業実施にかかる検証を行い、課題を共有することができた。施設型給付幼稚園への移行や利用定員の変更を行うことで施設運営の安定化を図った。

事業番号	3-2	事業名	子育て支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援事業、子育てひろば事業等の実施</li> <li>・ 交通機関利用児童等通学費補助事業の実施</li> <li>・ 子ども食堂推進事業の実施</li> </ul>		子育て支援事業、子育てひろば事業を子育て支援センター等で実施した。小中学校へ公共交通機関を利用して通学する児童等の保護者に通学費の助成、子ども食堂実施団体に事業費の補助を行った。（55,083千円）		子育て支援事業および子育てひろば事業を実施し、親子の遊びの場の提供と交流の場を提供することができた。子ども食堂推進事業により子ども食堂の活動支援の充実を図った。

事業番号	3-3	事業名	子育て世代包括支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て総合相談の実施</li> <li>・ 子育て支援情報の提供</li> <li>・ 子育て支援センターの管理運営</li> <li>・ 訪問員による家庭訪問</li> </ul>		子ども家庭支援センターにおける子育て総合相談を行うとともに、相談員による家庭訪問を実施した。子育て世代包括支援センターでは、妊娠から出産、子育てに関する相談に応じた。（45,358千円）		出産や子育てに関する不安や悩みの相談に応じたり、情報提供を行うことで、妊産婦や子育て中の方の不安等を取り除くことができ、子どもを育てやすい環境づくりにつながった。

事業番号	3-4	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児支援活動</li> <li>・ 講習および指導の実施</li> <li>・ 会員間の交流等</li> </ul>		特定非営利活動法人に委託し、保育所などへの送迎や子どもの預かり等の育児支援活動を延べ790件実施したほか、提供会員養成講座を1回、会員間の交流会および地区住民との交流会を開催した。（7,449千円）		育児支援活動により、子育て世代の負担を軽減し、また、提供会員養成講座を開催し、提供会員数を確保するほか、相互援助活動の組織を強化した。



事業番号	3-5	事業名	学童保育事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民設学童保育所の設置促進</li> <li>・放課後子ども総合プランの推進</li> </ul>		令和元年度から4事業者による指定管理者が管理運営を行った。待機児童が比較的多い新町地区において、令和3年4月開所に向け、民設民営の学童保育所の施設整備を行った。 (422,319千円)		多様な事業者の参入により、保育の質の向上を図った。新町地区に新たな民間学童保育所が令和3年4月に開所し、待機児童が減少の見通しとなった。

事業番号	3-6	事業名	短期臨時学童保育事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期臨時学童保育所を1校開設</li> </ul>		小学校の臨時休校が実施され、授業時間の確保により夏季休業期間が短縮されたことから、新たな短期臨時学童保育事業の増設を見送り、定員に空きがある既存のクラブで受入を実施した。(0円)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業内容を定員に空きがある既存のクラブでの受入のみに見直しを行った。7人から申請があり、5人が入所、2人が辞退した。

事業番号	3-7	事業名	保育所等施設整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・四恩幼稚園認定こども園移行に係る施設整備</li> <li>・NICOLANDほいくえん病児保育実施</li> </ul>		四恩幼稚園の認定こども園移行に係る乳児棟の施設整備およびNICOLANDほいくえんの病児保育実施に伴う施設改修を実施した。 (33,189千円)		認定こども園移行により特に0歳から2歳児クラスの待機児童の減少が図られた。病児保育の実施により保護者が安心して働くことができ、子育てと就労の両立が可能となった。

事業番号	3-8	事業名	放課後子ども教室事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室(夕やけランド)推進事業(16校)</li> <li>・学童保育事業との連携</li> </ul>		東小学校を除く全小学校16校で開催した。参加者延べ人数8,803人。学童保育事業との連携実施は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 (9,542千円)		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うための環境を整備することができた。

事業番号	3-9	事業名	家庭教育啓発事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育啓発事業（家庭教育講演会、家庭のスローガンの周知等）の実施</li> </ul>		<p>オンライン学習、プログラミング、命の大切さをテーマにオンラインを活用して講演会を3回行った。</p> <p>(54千円)</p>		<p>保護者の関心が高いオンライン学習や令和2年度に小学校の必修科目となったプログラミング、命の大切さについての講演会を実施し、家庭教育についての啓蒙・支援を行うことができた。</p>

事業番号	3-10	事業名	学力向上事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上対策事業（土曜、放課後等の補習）の実施</li> <li>・研究指定校の実施など</li> </ul>		<p>土曜日のサタデークラス（6会場、各10～14回）、放課後等のステップアップクラス（26校）、中学3年生を対象としたスタディ・アシストのほか、研究指定校5校による研究を実施した。（21,380千円）</p>		<p>放課後や土曜日の補習事業を通して、児童・生徒の学習習慣の定着を図った。</p> <p>2年次の研究指定校2校が研究発表を行い、研究の成果を広めた。</p>

事業番号	3-11	事業名	学びと心の育成事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施</li> </ul>		<p>各学校の実態に応じて、放課後等の学習補助、登校支援、農業体験、植栽活動、伝統文化体験などを実施した。</p> <p>(12,098千円)</p>		<p>学校の特色や、学校の実態に応じて、学力向上やいじめ問題の解決、不登校の解消に向けた事業を展開することにより、各学校の課題解決や教育活動の活性化を推進した。</p>

事業番号	3-12	事業名	児童生徒の学校適応体制の充実	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室指導員配置</li> <li>・指導環境の整備</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの配置</li> </ul>		<p>適応指導教室において不登校の児童・生徒を対象に授業を行った。</p> <p>スクールソーシャルワーカー2名を配置し、不登校や家庭環境の問題等29件の支援を行った。</p> <p>(7,232千円)</p>		<p>適応指導教室に在籍していた中学3年生9名全員が高等学校等へ進学した。不登校や家庭環境等の支援を行い、29件のうち、14件が解決、あるいは状況が好転した。</p>

事業番号	3-13	事業名	特別支援教育事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の特別支援教室実施</li> <li>・教育活動支援員の配置</li> <li>・研修会の開催</li> </ul>	<p>中学校6校に特別支援教室を開設し、全中学校（東中を除く）への設置が完了した。全小中学校に学校教育活動支援員を配置し、必要な支援を行った。特別支援教育について研修会を実施した。（13,041千円）</p>		<p>全校への設置が完了し、在籍校で特別な指導を受けられるようになり移動等の負担が軽減された。支援員を全校に配置し、通常学級において特別な支援を必要とする児童・生徒の意欲向上や授業理解につながった。</p>

事業番号	3-14	事業名	学校教材・備品の整備
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指導備品（図書、音楽教材、理科備品等）の更新、整備</li> </ul>	<p>図書購入（小学校17校計11,448,788円、中学校11校計9,769,090円）、理科備品（小学校3校計730,642円、中学校2校計483,868円）等により、学校の学習環境の整備を図った。（28,242千円）</p>		<p>蔵書整備により、分野の充実や新たな知見の取得につながった。 理科備品の購入により、実験環境を改善することができた。</p>

事業番号	3-15	事業名	教育の情報化推進事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務用サーバ等更新</li> <li>・情報セキュリティ対策の実施</li> </ul>	<p>校務用メールサーバを更新した。情報セキュリティ対策として、教員の研修および情報セキュリティ監査を実施した。GIGAスクール構想における1人1台のタブレット端末を導入した。（616,742千円）</p>		<p>校務用メールサーバを更新し、教員の職場環境を改善した。情報セキュリティについて、研修や監査を実施し、意識の向上を図った。生徒児童に1人1台のタブレット端末を導入し、オンライン学習環境を整えた。</p>

事業番号	3-16	事業名	小・中学校校舎トイレ改修事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本・実施設計、調査委託(4校) （小3校・中1校）</li> <li>・改修工事(4校) （小1校・中3校）</li> </ul>	<p>河辺小、霞台小、若草小、新町中の基本・実施設計およびアスベスト含有調査を実施した。吹上小、第一中、第六中、吹上中のトイレ改修工事およびトイレ改修に伴う外壁等改修工事を実施した。（358,427千円）</p>		<p>小・中学校4校の改修工事により、小・中学校のトイレ洋式化率は前年度の約48%から約54%に増加し、より多くの児童・生徒が快適なトイレを使用できるようになった。</p>

事業番号	3-17	事業名	小・中学校特別教室等空調整備事業	
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本・実施設計、調査委託（小6校）</li> <li>・整備工事（小6校）</li> </ul>	第一小、第五小、友田小、今井小、第七小、吹上小の空調機整備の基本・実施設計およびアスベスト含有調査を実施した。第六小、成木小、河辺小、新町小、霞台小、若草小に空調機整備工事を実施した。（302,052千円）		小学校6校の改修工事等により、小・中学校校舎の空調化率は前年度の約67%から約73%に増加し、教育環境の整備を推進することができた。	

事業番号	3-18	事業名	学校施設の個別施設計画事業	
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の個別施設計画を策定</li> </ul>	学校規模適正化検討委員会での計画案の検討、教育委員会および議会への計画案の報告、パブリック・コメントによる市民意見の徴取、教育委員会での承認を経て「青梅市学校施設個別計画」を策定した。（11千円）		「青梅市学校施設個別計画」を策定した。市民へ公開し、学校施設の今後のあり方について市民へ周知することが出来た。	

事業番号	3-19	事業名	調理場統合の検討	
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・根ヶ布調理場解体準備</li> <li>・実施方針・要求水準書の作成</li> </ul>	根ヶ布調理場解体に向けた準備を行った。設計から運営までの一括発注方式の支援業務を委託した。入札方式、契約手法等の必要な手続きや新施設の内容等を学校給食センター統合検討委員会等で協議した。（5,335千円）		支援業務の委託や検討委員会等での協議により、土壌調査の必要性、北側がけ地への対応、入札方式の選定、契約手法等、一括発注方式による事業者選定に向けた課題を整理することができた。	

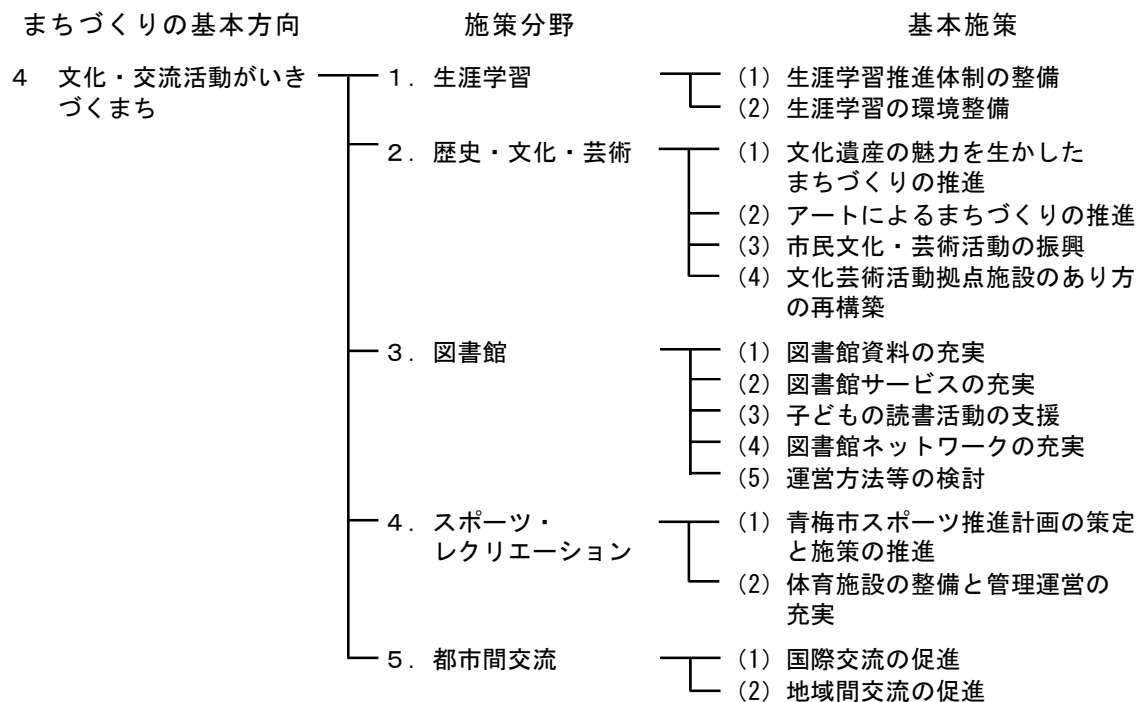
事業番号	3-20	事業名	体験活動の充実	
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など）</li> </ul>	農業・食育体験教室を4月26日から11月8日の間に6回開催し、延べ234人が参加した。親子で参加する文化体験を1講座開催し、延べ参加者32人が参加した。（39千円）		自宅ではあまりできない体験をすることによって、子どもたちの興味、関心の幅を広げることができた。	

事業番号	3-21	事業名	若者の自立等支援事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、民生委員・市民向け講演会の実施</li> </ul>	<p>ひきこもり等支援事業として、講演会等の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度については中止とした。なお、個別の相談については随時相談受付を行った。（661千円）</p>		<p>令和2年度から年齢要件が撤廃され、生活困窮者自立相談支援事業と一体的に相談を受けることにより、年齢に関係なく幅広く相談を受けることが可能となり、個々の状況に応じた様々な支援を行うことができるようになった。</p>

事業番号	3-22	事業名	青少年健全育成事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子ふれあい綱引き大会の実施</li> <li>・ 青少年健全育成団体の登録</li> <li>・ 青少対事業費補助</li> </ul>	<p>親子ふれあい綱引き大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。青少年健全育成団体を92団体登録した。地域活動支援として青少年対策各地区委員会に補助金を交付した。（1,639千円）</p>		<p>スポーツや文化活動を通して青少年の健全育成活動の推進を図るとともに、新型コロナウイルス対策市民活動団体支援事業補助金を交付した。各地区委員会の青少年対策事業を推進した。</p>

## 第4章 文化・交流活動がいきづくまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
生涯学習講座・教室受講者数	人	1,583	6,787	1,178	10,000
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
美術館年間入館者数	人	21,293	20,837	4,010	21,000
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.2	7.6	4.7	9.1
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
スポーツ実施率	%	26.3	28.8	41.0	70以上
		H15年度	H24年度	H28年度	R4年度

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 生涯学習				
	4-1	第六次青梅市生涯学習推進計画の推進	(1)	●
2. 歴史・文化・芸術				
	4-2	文化財の活用による地域活性化の推進	【新規】(1)	●
	4-3	吉川英治記念館運営事業	【新規】(1)	●
	4-4	文化交流センター運営事業	(4)	●
3. 図書館				
	4-5	図書館資料整備事業	(1)	
	4-6	青梅市子ども読書活動推進事業	(3)	
4. スポーツ・レクリエーション				
	4-7	青梅市スポーツ推進計画の推進	(1)	
5. 都市間交流				
	4-8	東京2020大会の成功に向けた気運醸成事業	(1)	
	4-9	自治体間交流事業	(2)	●

※図書館資料整備事業(4-5)および青梅市子ども読書活動推進事業(4-6)の事業費については、指定管理者への管理運営委託料に含まれるため「-」で表記

事業番号	4-1	事業名	第六次青梅市生涯学習推進計画の推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・第六次青梅市生涯学習推進計画の推進	各部署に進捗状況を確認し、状況把握に努めた。進捗状況報告書としてまとめ関係機関へ周知を行った。また、生涯学習だよりを4回発行した。 (178千円)		生涯学習推進計画の体系に沿った生涯学習を各課、各機関、団体と連携しながら推進することができた。

事業番号	4-2	事業名	文化財の活用による地域活性化の推進【新規】
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・都指定有形文化財の武蔵御嶽神社旧本殿および同じく春日神社本殿の塗り替え修理等	御嶽神社旧本殿の漆塗り替え工事、春日神社本殿の彩色剥落防止工事等を行った。また、成木熊野神社境域の危険木伐採、御嶽神社の赤糸威鎧、紫裾濃鎧の防災・防犯機能復旧工事を行った。(6,334千円)		御嶽神社旧本殿、春日神社本殿については、工期内に工事等が完了し、文化財を後世へ繋ぐ一助とできた。成木熊野神社境域、御嶽神社の鎧2領については、再び安全な形で公開できるようになった。

事業番号	4-3	事業名	吉川英治記念館運営事業【新規】
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・開館準備 ・開館イベントの実施 ・資料の整理・活用	民間事業者の創意工夫等を活用した記念館の管理運営を行うため、指定管理者制度を導入し、英治忌に合わせ予定通り開館した。収蔵資料を活用し通年展示および季節展示を開催した。 (28,308千円)		母屋を耐震補強によって常時公開することができるようになり、新たな記念館活用の土台を作ることができた。また、企業版ふるさと納税等の寄付により事業運営充実の基礎を作ることができた。

事業番号	4-4	事業名	文化交流センター運営事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・あそびばコーディネーターと連携した賑わいの創出と利用者拡大	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、生涯学習の企画事業を2回行うとともに、子どもたちの居場所作りや、各イベントとの連携、協力等、多岐に渡る事業展開を行った。 (2,359千円)		市民から選出された「あそびばコーディネーター」が、利用者の声を聞きながら、施設の賑わいの創出、利用者拡大等を行うことができた。



事業番号	4-5	事業名	図書館資料整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書の購入</li> <li>・ 視聴覚資料の購入</li> </ul>		青梅市図書館資料選定基準にもとづき、市民要望も尊重した図書館資料の充実に努めた。 （－）		年間 153,463 冊のリクエストがあり、その内、153,438 冊の提供ができ、充足率は 99.9 パーセントであった。また、WEB 予約が前年度より 13,825 件増加した。

事業番号	4-6	事業名	青梅市子ども読書活動推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども読書活動推進事業、学校連携推進重点校事業の実施等</li> </ul>		第四次青梅市子ども読書活動推進計画にもとづき、読書活動支援や読書情報提供、読書啓発・広報および人材育成などの事業を、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。 （－）		おはなし会の開催、ブックリストの配布、学校連携重点校事業、おはなしボランティア等の人材育成、小中学校への学校司書の配置（東小中除く）等を実施し、子ども読書活動を推進した。

事業番号	4-7	事業名	青梅市スポーツ推進計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青梅市スポーツ推進計画の推進</li> </ul>		新たにオクトーバー・ラン&ウォーク 2020 を実施した。青梅マラソン大会に代わり青梅ロードレース 2021 バーチャルを実施した。また、わかぐさ公園子どもプール管理棟等のトイレの洋式化を行った。（256 千円）		コロナ禍においても、運動を始めるきっかけとなるイベントの提供やオンラインマラソンを開催することで、スポーツ推進に取り組んだ。また、施設の改修により、スポーツを行う環境を整備した。

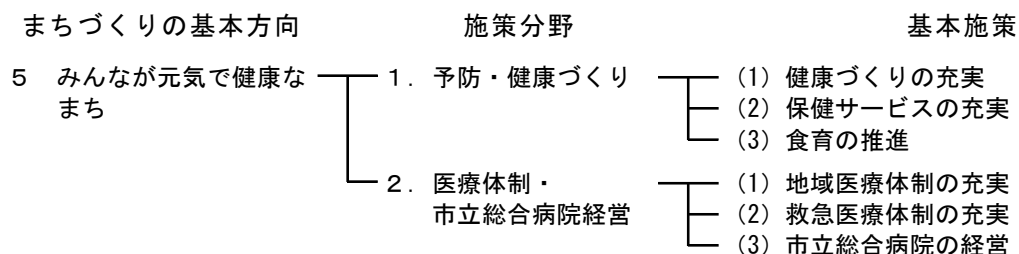
事業番号	4-8	事業名	東京2020大会の成功に向けた気運醸成事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ、文化・教育など多様な分野における気運醸成と交流促進</li> <li>・ 聖火リレー等大会関連事業の推進</li> </ul>		パラスポーツへの理解促進を目的としたイベントや、文化の祭典としての側面から、書道をテーマに身近な地域で実施する文化キャラバンを実施した。 （7,226 千円）		東京 2020 大会の開催延期が決定されたが、高め続けてきた気運を途切れさせないようスポーツに限らない多様な分野から気運醸成を図った。

事業番号	4-9	事業名	自治体間交流事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業による交流</li> <li>・青梅・南相馬スクラム支援事業の実施</li> </ul>		<p>杉並フェスタセンターステージにおける交流自治体紹介に、他の杉並区交流自治体とともに参加した。</p> <p style="text-align: center;">（7千円）</p>		<p>杉並フェスタ交流自治体紹介に参加し、他団体との交流のほか、来場観客に対し、青梅市の魅力を発信することができた。</p>



## 第5章 みんなが元気で健康なまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
特定健康診査の受診率	%	42.5	48.5	51.3	60.0
		H20年度	H24年度	R1年度	R4年度
慢性腎不全(CKD)重症化予防の取組による新規人工透析の患者数	人	15	20	18	10
		H20年度	H24年度	R1年度	R4年度
乳幼児健康診査の受診率	%	95	97	98	100
		H22年度	H24年度	R1年度	R4年度
「食育」へ関心を持っている市民の割合	%	-	69.4	67	80以上
		-	H20年度	R1年度	R4年度
「かかりつけ医」がいる市民の割合	%	-	53.6	70.3	70
		-	H20年度	R1年度	R4年度

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 予防・健康づくり			
5-1	青梅市健康増進計画の推進	(1)	●
5-2	生活習慣病の重症化予防	(2)	
5-3	青梅市食育推進計画の推進	(3)	
2. 医療体制・市立総合病院経営			
5-4	地域医療機関連携推進事業	(1)	
5-5	医療器械整備推進事業	(3)	
5-6	新病院建設事業	(3)	●

事業番号	5-1	事業名	青梅市健康増進計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市健康増進計画の策定</li> <li>・推進会議、庁内連絡会議の開催</li> </ul>		庁内連絡会議を開催した。 推進会議を書面にて2回開催した。 (168千円)		コロナ禍であったが、当初の予定通り推進会議を2回実施できた。推進会議等で各課の取り組み状況を確認し、今後の方向性について協議することで、健康増進計画を推進することができた。

事業番号	5-2	事業名	生活習慣病の重症化予防	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者へ啓発</li> <li>・医師による講演会の開催</li> </ul>		令和2年度の特定健診受診者で、eGFR50未満または、尿タンパク(+)以上の867名に対し、緊急事態宣言発令のため講演会を中止し、再検査通知と慢性腎臓病予防に関するパンフレットを送付した。(122千円)		講演会は実施出来なかったが、慢性腎臓病の疑いがある対象者全員へ、パンフレットとチラシを送り、重症化予防のための啓発を行うことができた。

事業番号	5-3	事業名	青梅市食育推進計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育推進会議、庁内連絡会議の開催（年2回）</li> <li>・食育関連事業の開催</li> </ul>		食育推進会議（2回）、子育てアプリを利用した食に関する配信（4回）、栄養相談（9回）、離乳食教室を開催した。 (356千円)		食育推進会議は書面開催し、進捗管理や目標設定について協議した。親子食育講座や講演会はコロナ禍で中止となったが、子育てアプリや行政メールを用いて食の情報を発信し、食育を推進した。

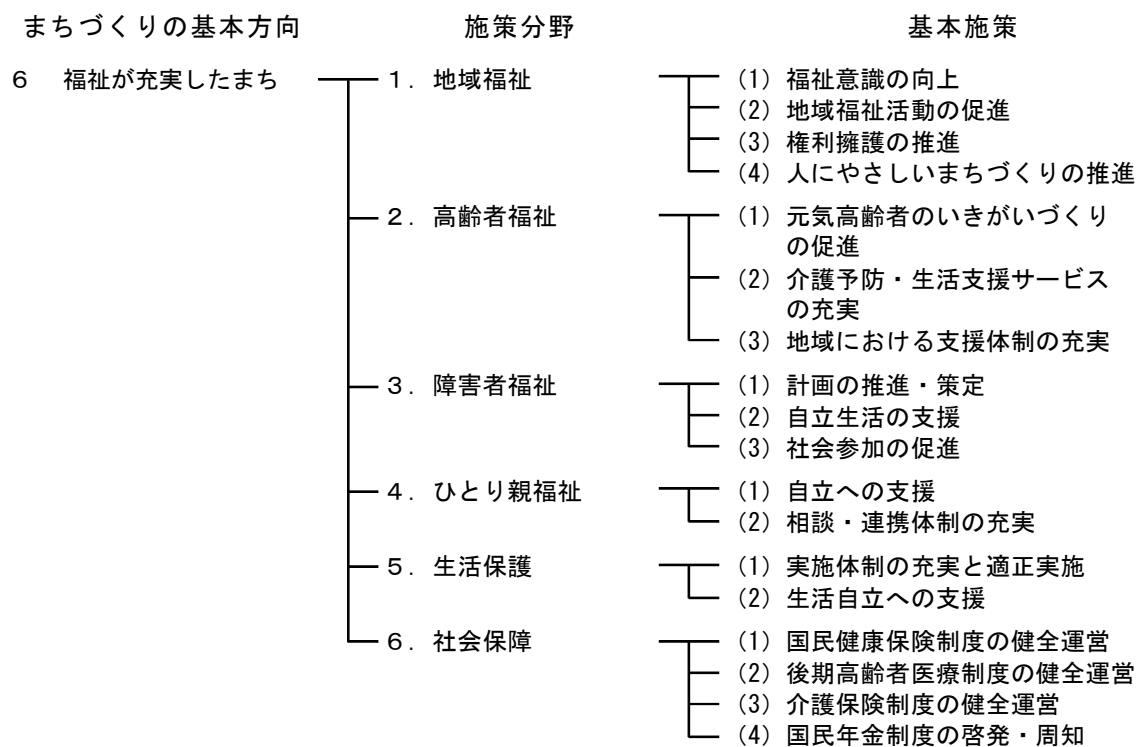
事業番号	5-4	事業名	地域医療機関連携推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療連携懇話会の実施</li> <li>・地域医療支援病院継続</li> <li>・ICTを活用した地域医療連携の推進</li> </ul>		にしたま ICT 医療ネットワークを通じ、カルテを事前に開示した上で連携調整を行う体制を構築、全科での運用を開始した。Zoomを使用した地域の多職種による退院前カンファレンスを開始した。(3,720千円)		連携調整時にカルテを公開する体制の構築や近隣の医療機関へ参加の働きかけを行ったことで、令和元年度1病院、3件の公開から、5病院、2診療所、95件の公開へ増加した。

事業番号	5-5	事業名	医療器械整備推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CT装置の更新</li> <li>・X線透視撮影装置の更新</li> </ul>		CT装置、X線透視撮影装置など、新病院開院に向けて更新等が必要となる器械、78装置について、計画的な整備を行った。 （632,925千円）		CT装置、X線透視撮影装置ともに最新の高性能機としたことにより、広範囲撮影、高精細な画像の取得を実現した。また、短時間処置が可能となり、患者の被ばく低減につながった。

事業番号	5-6	事業名	新病院建設事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画に沿った新病院建設工事に着手</li> </ul>		南棟ほかの解体工事を7月に完了した。 新病院建設工事は、制限付一般競争入札により、施工者を決定し、1月に工事に着手した。 （423,617千円）		近隣住民や来院者の安全を確保しながら、南棟ほか解体工事を完了するとともに、新病院建設工事に着手したことで、基本計画どおりに事業を推進した。

## 第6章 福祉が充実したまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
自分が健康だと自覚している高齢者の割合	%	—	80.2	79.5	増加
		—	H22 年度	令和1 年度	R4 年度
要介護(要支援)認定者の出現率※	%	11.9	14.5	15.9	21.7
		H15.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31
認知症サポーター数	人	292	1,490	5,954	10,000
		H20.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31

※出現率=要介護(要支援)認定者数÷介護保険第1号被保険者(65歳以上)数

※要介護(要支援)認定者の出現率の到達目標は、「第6期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画」の推計値です。



**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 地域福祉			
6-1	民生委員・児童委員の適正配置	(2)	
6-2	成年後見制度等の周知および利用促進	(3)	
2. 高齢者福祉			
6-3	介護予防・日常生活支援総合事業	(2)	●
6-4	高齢者等見守り支援ネットワークの構築	(3)	
6-5	認知症サポーター養成研修事業	(3)	
3. 障害者福祉			
6-6	障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画の策定・推進	(1)	
6-7	青梅市障がい者サポートセンター事業	(2)	
6-8	視聴覚サービス等支援事業	(2)	
6-9	青梅市障害者就労支援センター事業	(3)	
4. ひとり親福祉			
6-10	ひとり親家庭自立支援事業	(1)	●
5. 生活保護			
6. 社会保障			

事業番号	6-1	事業名	民生委員・児童委員の適正配置
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進</li> <li>・各種相談業務</li> <li>・関係機関との調整</li> </ul>	<p>民生児童委員の日々の活動として、高齢者や障害のある方の見守り、相談、各種調査業務を行った。</p> <p>(36,517千円)</p>	<p>民生児童委員による高齢者や障害のある方の見守り等を行うことで、生活状況を把握することができた。支援を必要とする方が福祉サービスを利用できるよう関係機関につなげることができた。</p>	

事業番号	6-2	事業名	成年後見制度等の周知および利用促進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見事業の推進</li> <li>・法人後見の実施</li> <li>・社会貢献型後見人等の導入の検討</li> </ul>	<p>市長申立による申請14件、後見報酬1件の助成を行った。青梅市社会福祉協議会に委託し、市民に対して制度の周知を行うとともに、法人後見を16件受任し、うち2件終了した。</p> <p>(15,174千円)</p>	<p>制度の周知を行うことにより、青梅市社会福祉協議会への相談件数や法人後見の受任件数が増加し、制度の利用促進を図ることができた。</p>	

事業番号	6-3	事業名	介護予防・日常生活支援総合事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業の実施</li> </ul>	<p>地域介護予防支援事業や、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として電話等による状況確認サービス事業を開始した。各地域で2層協議体を設置し地域の課題や活動について話し合いを計48回重ねた。(207,405千円)</p>	<p>地域介護予防活動支援事業を通して介護予防に努めた。状況確認サービス事業では重度化の防止を図った。協議体活動では関係者間のネットワークが構築され、支えあい活動への理解が深まった。</p>	

事業番号	6-4	事業名	高齢者等見守り支援ネットワークの構築
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は実施せず、事業者の活動状況報告により情報共有を行った。すでに配布済みの青梅市見守り支援ネットワーク事業ステッカーを随時希望のあった事業者に配布した。(4千円)</p>	<p>協定締結事業者が1事業者増え、合計41事業者となり、高齢者の見守り体制を拡大することができた。高齢者向け冊子に事業者名を掲載し広く市民等に周知を図ることで事業の理解が深まった。</p>	

事業番号	6-5	事業名	認知症サポーター養成研修事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成研修の実施</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>	認知症サポーター養成研修を4回開催し、74人が受講した。認知症サポーターが累計で5,954名に増加した。 (0円)		講師は地域包括支援センター職員のほか、介護施設職員等が担い、連携して認知症の普及啓発について取り組むことができた。

事業番号	6-6	事業名	障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画の策定・推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者計画および障害福祉計画・障害児福祉計画の推進</li> <li>障害福祉計画・障害児福祉計画の策定</li> </ul>	障害者地域自立支援協議会（本会4回開催）において、各種計画の評価・検証を行い、今後の課題等の意見を参考に第6期青梅市障害福祉計画・第2期青梅市障害児福祉計画を策定した。 (183千円)		第5期青梅市障害者計画の障害福祉サービスに関する実施計画として、具体的な成果目標、活動指標を明記した。これにより、より計画的に障害者福祉の推進ができるようになった。

事業番号	6-7	事業名	青梅市障がい者サポートセンター事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者を支援する各種事業の実施</li> </ul>	障がい者を支援するための相談支援事業や生活リズムの確立、自立の促進を推進する地域活動支援センター事業のほか、電話による健康相談や個別面談を実施した。 (54,489千円)		コロナ禍で地域の交流イベント等の実施は見送ったものの、感染対策を講じ、電話による健康相談や個別面談の実施等により利用者の不安解消に努めた。

事業番号	6-8	事業名	視聴覚サービス等支援事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>音声コードの普及啓発</li> <li>手話講習会の実施</li> <li>手話通訳者の配置</li> </ul>	障がい者福祉課の窓口到手話通訳者を配置した。 音声コードの市刊行物等への使用と普及啓発を図った。 手話講習会（初級）を18回実施し、15名が受講した。 (441千円)		障がい者福祉課窓口到手話通訳者を配置（火曜日の午前、水曜日の午後）し、窓口サービスの向上を図った。 音声コードの普及を市全体で取り組むことにより、情報のバリアフリー化を図った。

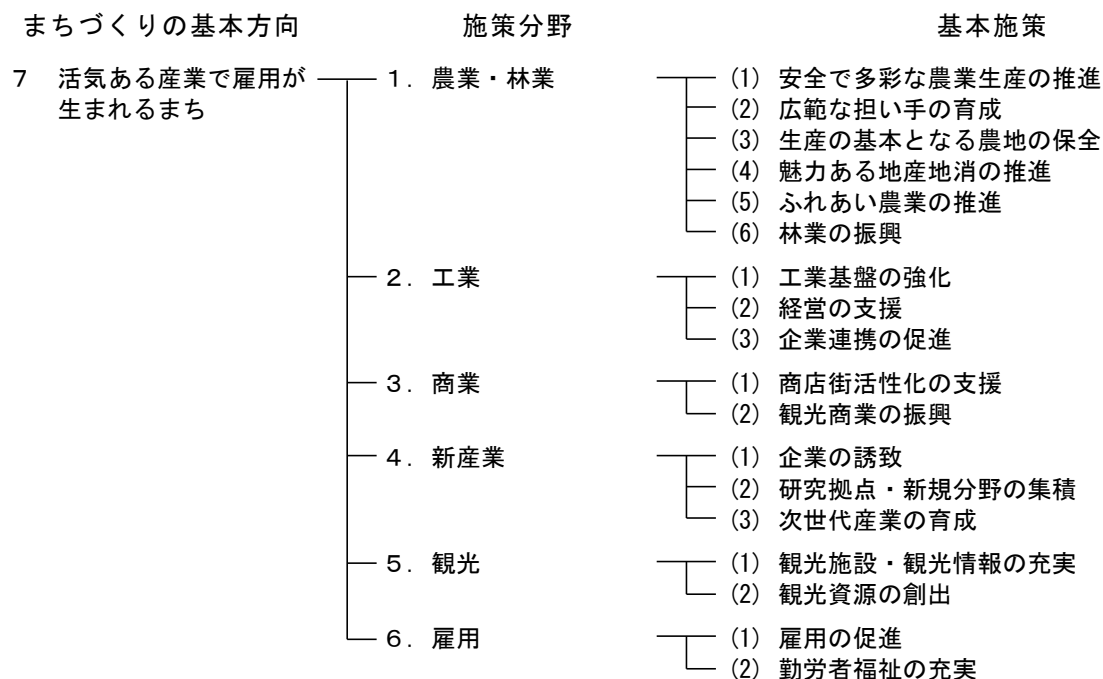
事業番号	6-9	事業名	青梅市障害者就労支援センター事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労面の支援の実施</li> <li>・生活面の支援の実施</li> </ul>		新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン面談やオンライン企業訪問など ICT を積極的に活用し、職業相談、就労準備相談などの就労面の支援や日常生活、社会生活などの生活面の支援を行った。(31,173 千円)		一般就労に至った障がい者の就労支援や職業生活を継続するための生活支援を実施し、障がい者、雇用者合わせて計 1,277 名の支援を行い、障害者の自立と社会参加の促進を図ることができた。

事業番号	6-10	事業名	ひとり親家庭自立支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施</li> <li>・高等職業訓練促進給付金等の支給</li> </ul>		母子・父子自立支援員等による相談を 703 件受け、支援を実施するとともに、高等職業訓練促進給付金等を 23 名に支給した。(17,257 千円)		修了支援給付金支給者 5 人のうち 3 人が准看護師の資格を取得（1 人はさらに看護科へ進学）した。また、1 人は保育士、1 人は美容師の資格を取得し、5 人全員が就労している。



## 第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
年間観光入込み客数	人	212万	195万	216万	212万
		H13年度	H24年度	H29年度	R4年度
事業所数・従業員数	力所 人	5,200 56,280	5,051 55,925	4,504 47,556	5,024 55,629
		H13	H21	H28	R4

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 農業・林業			
7-1	青梅市農業振興計画の推進	(1)	●
7-2	梅の里再生事業	(1)	●
7-3	強化対策地区における緊急防除対策事業	(1)	●
7-4	都市農業活性化支援事業	(2)	
7-5	農業経営改善計画等の推進	(2)	
7-6	6次産業化支援事業	(4)	●
7-7	林業振興事業	(6)	●
2. 工業			
7-8	おうめものづくり支援事業	(1)	●
7-9	おうめひとづくり支援事業	(1)	●
3. 商業			
7-10	商・工業振興プランの推進	(1)	●
7-11	商店街空き店舗活用事業	(1)	●
7-12	商店街活性化イベント事業の推進	(2)	●
7-13	販路拡大支援事業	(2)	●
4. 新産業			
7-14	企業誘致の推進	(1)	●
5. 観光			
7-15	観光ボランティア養成事業	(1)	
7-16	観光戦略の推進	【新規】(1)	●
7-17	梅の里再生事業	(2)	●
7-18	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業	(2)	●
6. 雇用			
7-19	就職面接会の開催	(1)	●
7-20	労働相談の実施	(2)	

事業番号	7-1	事業名	青梅市農業振興計画の推進
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興計画にもとづく事業の推進</li> </ul>		<p>青梅市農業の担い手である認定農業者および認定新規就農者に対し、利用権設定による農地の集約化を図るとともに、農業経営改善計画等実施事業補助金等を交付するなどの支援を行った。（77,545千円）</p>	<p>各農業者への支援により、生産性の向上や、業務の効率化、労働の質の向上を図ることができた。</p>

事業番号	7-2	事業名	梅の里再生事業
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅まつりの実施</li> <li>・梅の公園等の整備充実</li> <li>・梅苗木育成・管理</li> </ul>		<p>梅の公園に梅樹植栽、階段工やベンチおよび手すりを設置するなど施設整備を実施した。日高市圃場にて育成した梅苗木313本を農地に再植栽した。梅まつり（3/1～3/21）を実施した。（76,874千円）</p>	<p>継続的な梅樹植栽や施設整備、管理の充実により、梅の里の景観の再生を進めることができた。規模を縮小して梅まつりを期間開催し、7千人以上の来園者があった。</p>

事業番号	7-3	事業名	強化対策地区における緊急防除対策事業
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況調査</li> <li>・アブラムシ防除作業</li> </ul>		<p>ウメ輪紋ウイルス緊急防除にかかる強化対策を実施した。年3回のPPV感染状況調査、春季・秋季のアブラムシ防除を実施した。感染樹の即時伐採（枝打ち）は、国の方針変更に伴い実施していない。（42,855千円）</p>	<p>これまで実施してきた防除事業により、緊急防除地域が解除され、令和3年度から市内全域で再植栽が可能となった。</p>

事業番号	7-4	事業名	都市農業活性化支援事業
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者集団等の生産力や収益の向上の支援</li> <li>・支援対象事業の検討</li> </ul>		<p>認定新規就農者の営農集団2団体に対し、生産施設や農業用機械の購入にかかる費用を補助した。（32,886千円）</p>	<p>生産施設や農業用機械を新たに導入することで、生産・出荷調整作業の効率化や生産物の品質向上、出荷の安定を図り、農業への定着と育成が図られた。</p>



事業番号	7-5	事業名	農業経営改善計画等の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・市内認定農業者等への支援		認定農業者等に11経営体15件の農業経営改善計画等実施事業補助金を交付した。 (1,461千円)		補助事業による施設整備等により、認定農業者等の生産力の向上や、作業環境の改善につながった。

事業番号	7-6	事業名	6次産業化支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・6次産業化の支援 ・地産地消の推進 ・新たな補助事業		6次産業化事業に取り組む市内団体（1件）に対し、地場産野菜を使った製品開発に6次産業化事業費補助金を交付した。 (255千円)		異業種間の連携に広がりを見せるなど、地産地消の推進とともに、地域産業の活性化が図られた。

事業番号	7-7	事業名	林業振興事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・森林所有者意向調査準備業務		都および地域森林計画対象森林がある6市町村で協議会を発足した。森林所有者意向調査準備事務により、調査対象地域のゾーニングを行った。 (568千円)		ゾーニングにより令和3年度に実施する意向調査の地域を選定することができた。

事業番号	7-8	事業名	おうめものづくり支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・中小企業に対する各種支援の実施 ・支援企業に対する効果測定		中小企業等に対し、新製品・新技術開発事業（3件）、産業財産・認証出願事業（6件）を実施した。 (6,577千円)		新製品や改良を加え付加価値を高めた製品等への補助を行った結果、3件の新製品化を実現することができた。

事業番号	7-9	事業名	おうめひとづくり支援事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業、中小企業グループに対する各種支援の実施</li> <li>・ 支援企業に対する効果測定</li> </ul>	<p>中小企業者等に対し、人材確保・育成事業（6件）、企業間交流支援事業（1件）、展示会等出展事業（5件）を支援した。</p> <p>（1,300千円）</p>		<p>ひとづくりの視点から市内中小企業者の人材育成支援に寄与した。</p>

事業番号	7-10	事業名	商・工業振興プランの推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の推進</li> <li>・ 実施計画の再検証</li> </ul>	<p>生産性向上の実現に向けた中小企業の先端設備導入計画12件を認定した。また、IoT化推進に向けたセミナーをオンラインで4回開催した。</p> <p>（894千円）</p>		<p>先端設備計画の認定により、製品の付加価値の向上を図った。IoT化推進セミナーについては、多くの参加者から好評を得ることができた。</p>

事業番号	7-11	事業名	商店街空き店舗活用事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家賃助成補助等の実施</li> </ul>	<p>空き店舗を活用して事業を開始する創業者に対して、施設の改修にかかる経費の一部を補助（4件）を行うとともに、商店街が実施する空き店舗活用事業に対して家賃補助（1件）を行った。</p> <p>（2,961千円）</p>		<p>空き店舗の解消とにぎわいの創出、創業者支援および来街者の増加に寄与し、商店街の活性化を支援することができた。</p>

事業番号	7-12	事業名	商店街活性化イベント事業の推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント事業等の支援</li> </ul>	<p>青梅本町朝顔市等の商店街が行うイベント事業等に対し、補助金を交付した（7団体、7事業）。</p> <p>（6,397千円）</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止や規模縮小が相次ぐ中においても、商店街の活性化を図ることができた。</p>

事業番号	7-13	事業名	販路拡大支援事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の選定支援</li> <li>・販路拡大状況の把握</li> </ul>	<p>市の特産品を購入できるインターネットサイト「東京いいもの青梅」の市内事業所を追加登録したほか、取扱商品を充実させ、青梅市の土産品等を市内外へ広域的に発信することで商業振興を図った。（0千円）</p>		<p>青梅商工会議所とともに販路拡大支援を行い、取扱事業者が2社増加した。また、「東京いいもの青梅」へのアクセス数が前年度比で42%増加した。</p>

事業番号	7-14	事業名	企業誘致の推進
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進</li> <li>・企業誘致奨励金の交付</li> </ul>	<p>青梅商工会議所と連携し、企業誘致制度についての情報発信に努めた。また、前年度に引き続き1社に企業誘致奨励金を交付した。  (996千円)</p>		<p>奨励措置等を講ずることにより、市内事業者の留め置きを図ることができた。</p>

事業番号	7-15	事業名	観光ボランティア養成事業
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドボランティア事業の充実</li> </ul>	<p>しょうぶ公園ガイドボランティアおよび梅の公園ガイドボランティアとともに年間を通じて新規ガイドボランティアを募集した。  (0千円)</p>		<p>しょうぶ公園ガイドボランティアには、新規に5名、梅の公園は1名のガイドボランティアが加わった。</p>

事業番号	7-16	事業名	観光戦略の推進【新規】
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者の観光動態調査</li> <li>・地域資源の磨きあげ</li> <li>・動画を中心としたPR</li> </ul>	<p>「都心から1時間、青梅に秋を感じに行こう。」をテーマに秋季観光PR動画を作成したほか、OmeBlueの普及を目的としたプロモーション活動 OmeBlueの活用事例をSNS等を活用して情報発信を行った。(3,960千円)</p>		<p>「OmeBlue」のプロモーション活動等により約132件の活用事例を確認することができた。</p>

事業番号	7-17	事業名	梅の里再生事業（7-2 の再掲）	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅まつりの実施</li> <li>・梅の公園等の整備充実</li> <li>・梅苗木育成・管理</li> </ul>		<p>梅の公園に梅樹植栽、階段工やベンチおよび手すりを設置するなど施設整備を実施した。日高市圃場にて育成した梅苗木313本を農地に再植栽した。梅まつり（3/1～3/21）を実施した。</p> <p style="text-align: center;">（76,874千円）</p>		<p>継続的な梅樹植栽や施設整備、管理の充実により、梅の里の景観の再生を進めることができた。規模を縮小して梅まつりを期間開催し、7千人以上の来園者があった。</p>

事業番号	7-18	事業名	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影場所の情報提供等</li> </ul>		<p>撮影場所の情報提供、希望する撮影風景の場所探し、撮影希望施設への交渉、撮影現場の立会い等を実施した。また、希望によりロケ弁、駐車場、宿の紹介やエキストラ募集の広告などについても行った。（0千円）</p>		<p>196件の相談があり、65件の撮影が行われた。</p>

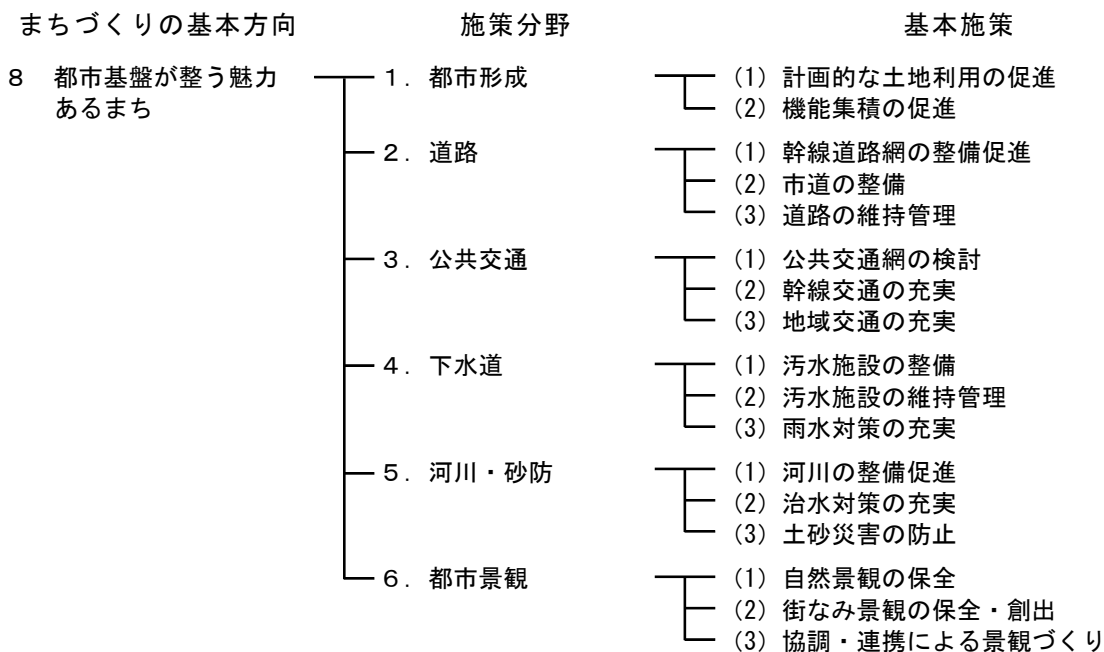
事業番号	7-19	事業名	就職面接会の開催	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施</li> </ul>		<p>関係団体と共催で就職面接会を1回実施した。また女性の再就職支援パソコン講座を1回（計4日間）実施した。</p> <p style="text-align: center;">（0千円）</p>		<p>就職面接会に参加した13名の内、4名の就職が決定し、限られた状況下の中で就職支援を行うことができたほか、女性の再就職支援パソコン講座を開催し、延べ33名の参加があった。</p>

事業番号	7-20	事業名	労働相談の実施	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働相談の実施</li> </ul>		<p>社会保険労務士による無料の労働相談を実施した。令和2年度は5件の利用があった。</p> <p style="text-align: center;">（0千円）</p>		<p>雇用環境、労使間のトラブル等の諸問題について、社会保険労務士が直接アドバイスする場を設けることにより、労働諸問題の早期解決に向けての一助となった。</p>



## 第8章 都市基盤が整う魅力あるまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
地籍調査進捗率 (D I D地区内)	%	38.5	43.8	53.9	56.2
		H21.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31
J R 青梅線利用者数 (河辺駅、東青梅駅、青梅駅 の乗車人員) <sup>※</sup> ○	人	27,876	26,795	20,336	28,900
		H14年度	H23年度	R2年度	R4年度
水洗化率	%	89.5	92.3	96.4	100
		H15.3.31	H25.3.31	R3.3.31	R5.3.31

※ J R 青梅線利用者数は、上記各駅における一日平均の乗車人員の合計

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(K P I)と共通の指標

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 都市形成			
8-1	都市計画マスタープランの改定・推進	(1)	
8-2	地籍調査事業	(1)	
8-3	今井土地区画整理事業の推進	(2)	●
8-4	東青梅駅整備事業	(2)	
8-5	日本ケミコン跡地の利活用	(2)	●
8-6	中心市街地活性化促進事業	(2)	●
2. 道路			
8-7	都市計画道路の整備	(2)	
8-8	市道の改修・改良	(2)	
8-9	健康と歴史・文化の路整備事業	(2)	
8-10	電線類の地中化	(2)	
8-11	橋りょう等の長寿命化	(3)	
3. 公共交通			
8-12	青梅市公共交通基本計画の推進	(1)	●
8-13	バス路線等補助事業	(3)	●
8-14	地域公共交通改善事業	(3)	●
4. 下水道			
8-15	公共下水道汚水事業計画の推進	(1)	
8-16	合併処理浄化槽整備事業計画の推進	(1)	
8-17	第3期事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-18	小曾木事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-19	御岳山事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-20	ポンプ場の改修・更新	(2)	
5. 河川・砂防			
8-21	河川の維持改修	(2)	
6. 都市景観			
8-22	景観まちづくり事業	(1)	

事業番号	8-1	事業名	都市計画マスタープランの改定・推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定生産緑地の指定等に向けた準備</li> <li>・区域区分等調査の実施</li> </ul>		特定生産緑地の指定にかかる申請受付を開始した。また、特定生産緑地関係図書作成等業務委託、区域区分等見直し箇所抽出業務委託を実施した。 (8,393千円)		特定生産緑地関係図書作成等業務委託により、指定に必要な図面等を作成した。また、区域区分等見直し箇所抽出業務委託により、境界根拠の精査および抽出結果図面を作成した。

事業番号	8-2	事業名	地籍調査事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生地籍調査</li> </ul>		都市再生地籍調査および官民境界測量を実施した。 (54,447千円)		街区調査および一筆地調査を継続的に実施し、地震等による災害復旧や土地取引の円滑化への対応を図った。

事業番号	8-3	事業名	今井土地区画整理事業の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との協議</li> <li>・都市計画法定図書作成</li> <li>・環境影響評価書作成</li> <li>・都計道予備設計</li> </ul>		区域区分、用途地域、地区計画、土地区画整理事業等、都市計画決定にかかる素案を取りまとめた。また、都市計画道路の調査設計を実施した。地権者組織は、環境影響評価書（案）の作成に着手した。(10,112千円)		令和3年度から、国と都の農林調整協議の状況に応じて都市計画法、農業振興地域の整備に関する法律等の手続を開始する予定であり、これに向けての準備を行うことができた。

事業番号	8-4	事業名	東青梅駅整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査設計による計画案の検討</li> </ul>		JRが実施する調査設計のスケジュールおよび費用負担について、5回協議した。 (0円)		東青梅駅の駅舎建替えの早期実現に向けた協議を進めた。



事業番号	8-5	事業名	日本ケミコン跡地の利活用	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールに関する検討</li> <li>・国施設に関する協議の継続</li> </ul>		市民ホールに関する懇談会を設置した。また、配置計画およびスケジュール案の変更を行った。  (79千円)		東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画の策定に向けて検討を進めることができた。

事業番号	8-6	事業名	中心市街地活性化促進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定基本計画事業推進</li> <li>・青梅駅前地区市街地再開発事業支援 等</li> </ul>		認定基本計画にもとづき各種事業を実施した。青梅駅前地区市街地再開発準備組合の運営および計画の推進を支援した。株式会社まちづくり青梅の運営および事業を支援した。  (2,578千円)		東京都に再開発組合設立認可申請を行い、計画の推進を図った。

事業番号	8-7	事業名	都市計画道路の整備	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3・5・5 用地取得等</li> <li>・3・5・24 設計委託等（次工区）</li> <li>・3・5・26 設計委託等</li> </ul>		3・5・5号線の設計業務、3・5・24号線の設計業務および街築工事のほか、3・5・26号線の舗装工事等を実施した。  (81,408千円)		各都市計画道路において、設計業務や街築工事、用地管理工事等を実施した。3・5・24号線においては、街築工事の実施により、交通が円滑化し利便性が向上した。

事業番号	8-8	事業名	市道の改修・改良	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事(幹29号線他)</li> <li>・路面改良(幹14号線他)(新町・木野下地区)</li> </ul>		準8号線の改修工事、幹14号線他の路面改良工事、および準45号線の用地取得、物件補償等を実施した。  (95,075千円)		改修工事、路面改良工事、補修工事等を実施し、安全性、利便性が向上した。

事業番号	8-9	事業名	健康と歴史・文化の路整備事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・青梅駅周辺市街地整備事業に合わせた検討		青梅駅前地区市街地再開発事業の進捗状況を確認しながら、当該整備に向けた検討を進めた。 (0円)		事業推進に当たって庁内での調整を図り、当該整備に係る課題整理を行った。

事業番号	8-10	事業名	電線類の地中化	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・基本設計委託（青2001）		無電柱化チャレンジ支援事業制度を活用し、電線類地中化に向けた予備設計を実施した。 (9,900千円)		無電柱化チャレンジ支援事業制度に必要な「技術検討会」を開催し、試掘調査を含む予備設計委託を実施した。

事業番号	8-11	事業名	橋りょう等の長寿命化	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・点検 ・補修設計 ・補修工事		橋りょう等の定期点検、調査、補修設計および補修工事を実施した。 (33,128千円)		定期点検を65橋と1構造物、塗膜調査を18橋、補修設計を1件および補修工事を6橋実施し、長寿命化を図った。

事業番号	8-12	事業名	青梅市公共交通基本計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
・青梅市公共交通基本計画の見直し		公共交通協議会を7回（書面開催3回含む）開催し、現行計画の評価および見直しについて協議した。 (2,711千円)		公共交通協議会にて、現行計画の評価を実施するとともに、社会経済情勢など公共交通を取り巻く環境の変化を踏まえ、令和3～4年度の2カ年で新たな計画策定に取り組むこととした。

事業番号	8-13	事業名	バス路線等補助事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共負担金によるバス路線の維持</li> <li>・新たな公的支援制度の検討</li> </ul>		バス路線の維持確保のための公共負担を行った。 （123,425千円）		都営バスおよび西東京バスに対して公共負担を行い、路線維持を図った。

事業番号	8-14	事業名	地域公共交通改善事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の維持および利用促進策の取組支援</li> </ul>		路線バスのペーパークラフトを作成し、子育て支援センター等に配布した。また、吹上小学校で交通環境学習を実施した。公共交通ガイドを作成し、自治会加入世帯に全戸配布した。 （0円）		各種モビリティ・マネジメントを実施するにあたり、交通事業者と連携して取り組んだ。

事業番号	8-15	事業名	公共下水道汚水事業計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道汚水事業の整備推進</li> <li>・公共下水道事業計画認可変更</li> </ul>		公共下水道事業の着手に必要な、公共下水道全体計画および公共下水道事業計画（認可）変更を行った。 （17,820千円）		国費（社会資本整備総合交付金）や都費（下水道事業補助金）を活用し事業整備に必要な財源を確保し市負担軽減を図り、未整備地区における汚水事業の整備を推進した。

事業番号	8-16	事業名	合併処理浄化槽整備事業計画の推進	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続</li> <li>・公設浄化槽設置工事、実施設計委託</li> <li>・浄化槽維持管理</li> </ul>		公設浄化槽を7基設置し、個人所有合併処理浄化槽の譲渡を3基受入れた。これにより、公設浄化槽が288基となった。また、実施設計委託を12基行った。 （53,848千円）		公設浄化槽の設置および個人所有合併処理浄化槽の譲渡受入れにより、事業促進に努めた。

事業番号	8-17	事業名	第3期事業区域の下水道（污水）整備
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L=419.0m</li> </ul>	<p>二俣尾および沢井地区において、下水道（污水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長L=250.01m (31,801千円)</p>		<p>第3期事業区域における下水道面整備率は、100パーセントとなった事から、今後は、未施工箇所の整備や土地利用の変更に伴う接続を進める。</p>

事業番号	8-18	事業名	小曾木事業区域の下水道（污水）整備
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事延長 L=30.0m</li> </ul>	<p>黒沢地区において、下水道（污水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長L=31.40m (1,998千円)</p>		<p>小曾木事業区域における下水道面整備率は、約96パーセントとなった事から、今後は、未施工箇所の整備を進める。</p>

事業番号	8-19	事業名	御岳山事業区域の下水道（污水）整備
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・御岳山集落地区の整備 L=284.0m</li> </ul>	<p>御岳山地区において、集落地区の下水道（污水）管きよの枝線布設工事および連絡管整備（第2ルート）の測量、実施設計を実施した。 工事延長L=161.43m (61,213千円)</p>		<p>御岳山事業区域における枝線布設および連絡管整備（第2ルート）について、概ね予定通りに実施できた。今後は、早期の整備完了に向けた事業の推進を図る。</p>

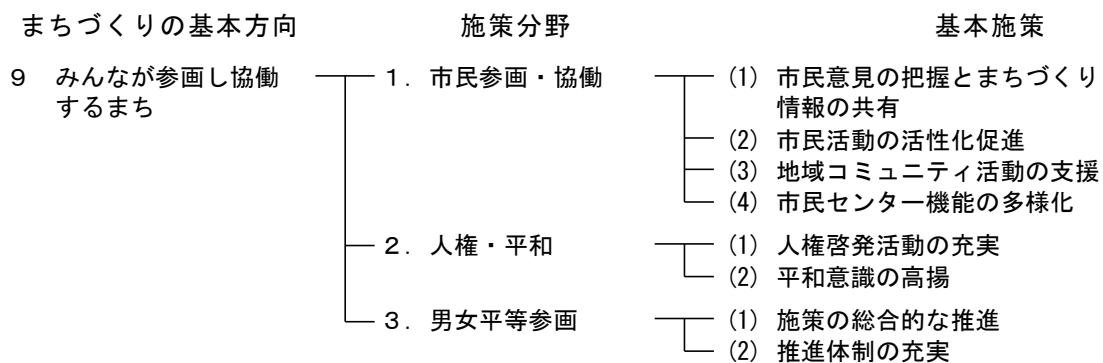
事業番号	8-20	事業名	ポンプ場の改修・更新
令和2年度事業計画	令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友田中継ポンプ場耐震詳細設計、設備改修工事設計委託</li> <li>・中継ポンプ場耐震診断業務委託</li> </ul>	<p>友田中継ポンプ場の耐震工事のための詳細設計および、設備改修工事についての設計を実施した。3箇所（柚木第一、日向和田第一、和田第二）の中継ポンプ場について、耐震診断を実施した。(49,940千円)</p>		<p>令和3年度以降実施見込みの友田中継ポンプ場の耐震工事、設備改修工事について準備が整った。また、令和3年度に実施見込みの中継ポンプ場耐震詳細設計の準備が整った。</p>

事業番号	8-21	事業名	河川の維持改修	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川維持工事</li> <li>・ 大門川詳細設計委託（水門～境橋）</li> <li>・ 矢端川調節池基本設計委託</li> </ul>		大門川改修工事、矢端川調節池（仮称）設計委託および友田町1丁目水路などの補修工事を実施したほか、自治会要望等にもとづく水路補修工事等を実施した。  （44,409千円）		前年度繰り越した大門川改修工事のほか、矢端川調節池（仮称）整備に向けた設計を実施した。また、自治会要望等にもとづく水路補修工事および浚渫工事により河川の機能保全を図った。

事業番号	8-22	事業名	景観まちづくり事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要資源修景助成</li> </ul>		重要資源修景助成制度の周知を行った。  （0円）		青梅駅周辺景観形成地区における良好な街なみ景観の形成、保全に寄与する重要資源修景助成制度を周知することができた。

## 第9章 みんなが参画し協働するまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
青梅ボランティア・市民活動センターに登録している団体数	団体	21	68	70	90
		H14年度	H24年度	R2年度	R4年度
市の審議会等における女性の参画率	%	19.7	22.2	24.1	33.3
		H20.4.1	H24.4.1	R3.4.1	R5.3.31

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 市民参画・協働			
9-1	ホームページを活用した情報発信の充実	(1)	
9-2	協働推進事業	(2)	
9-3	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業	(2)	
9-4	婚活支援事業	(2)	
9-5	自治会加入促進事業	(3)	●
2. 人権・平和			
9-6	平和事業	(2)	
3. 男女平等参画			
9-7	男女平等参画推進事業	(1)	●

事業番号	9-1	事業名	ホームページを活用した情報発信の充実	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運用</li> <li>・ホームページのデザイン、構成等の随時見直し</li> </ul>		青梅市公式ホームページおよび青梅市教育委員会公式ホームページについて、令和2年1月から公開を開始している。 （3,486千円）		新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令に際し、各課の情報を集約し、即時的にホームページに公開するなど、最新情報を発信し、市民が求める情報をすぐに得られるよう配慮した。

事業番号	9-2	事業名	協働推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業への助成</li> <li>・協働研修の実施</li> <li>・団体の組織強化</li> <li>・活動団体育成</li> </ul>		市民提案協働事業（3事業）、新任職員対象研修（協働型のまちづくりを促進するために）（参加者38名）を実施した。協働事業推進員対象研修および市民活動団体支援講座は、コロナ禍のため中止した。（526千円）		市民提案協働事業は3団体が採択され、コロナ対策を講じて実施された。市全体の協働事業は88事業あり、各課での協働事業は定着しつつある一方で全体の件数は前年度比で減少となった。

事業番号	9-3	事業名	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上</li> </ul>		広報おうめ等により、青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、運営費の助成を実施した。 （19,335千円）		ボランティア、市民活動に関する相談件数は、1,537件（前年度比▲18件）、来所者数は、4,042件（▲1,279件）であった。また、ボランティア・市民活動センターの紹介動画を作成し周知を図った。

事業番号	9-4	事業名	婚活支援事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活事業への支援</li> <li>・事業検証</li> </ul>		結婚を希望する独身の男女を対象とする結婚支援事業を実施した1団体に対し、補助を行なった。 青梅市結婚支援事業補助金交付要綱を一部改正した。 （168千円）		補助金交付対象事業は、台風接近に伴い開催中止となった。要綱内の補助対象条件と上限額引下げの改正を行い、令和3年度から、より多くの結婚支援を行う市民や団体への支援が可能となった。



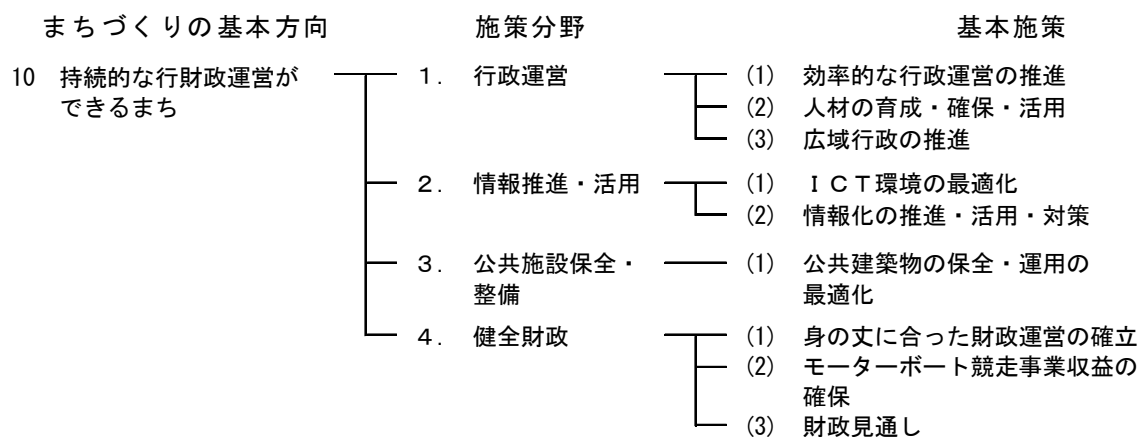
事業番号	9-5	事業名	自治会加入促進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入促進</li> <li>・自治会退会防止</li> <li>・負担金等の軽減</li> </ul>		返信ハガキ付きの自治会加入パンフレットの転入者への配布、広報おうめへの自治会活動紹介記事の掲載、集会施設用地借上料の補助等を実施した。 (1,180千円)		返信ハガキ付きパンフレットの配布、広報おうめへの自治会紹介記事掲載等で広く周知し、加入促進に努めた。また、補助金により、引き続き自治会の経費負担を軽減し、活動を支援できた。

事業番号	9-6	事業名	平和事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生をヒロシマに派遣（羽村市合同事業）</li> <li>・各種平和事業の推進</li> </ul>		中学生を広島に派遣する羽村市との合同事業や平和アニメ上映会、共催による講演会等は、コロナ禍のため中止となった。原爆展や東京空襲資料展を実施するとともに、戦後75年誌を作成した。(3,872千円)		原爆に関するパネルを市役所1階に展示するとともに、戦後75年誌を作成し、市内小中学校および図書館に配布し、“青梅の戦争体験”を伝え、平和思想の普及啓発を図ることができた。

事業番号	9-7	事業名	男女平等参画推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等の実施</li> <li>・情報紙の作成（年2回）</li> <li>・懇談会の開催</li> <li>・女性活躍推進事業等</li> </ul>		第六次男女平等推進計画にもとづき、パソコン講座等各種講座を3講座実施した。また、男女平等情報誌よつばの手紙の発行（2回）や男女平等推進計画懇談会（3回）、女性活躍推進事業を実施した。(3,679千円)		男女平等推進計画懇談会や検討委員会にて、計画の進捗よくを管理したほか、情報誌やリーフレットの配布、ビジネススクールや講演会の開催により、意識啓発を図ることができた。

## 第 10 章 持続的な行財政運営ができるまち

### 【施策の展開】



### 【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
市役所に対する印象として、仕事が早く効率が良いと思う市民の割合※	%	20.8	22.7	25.6	50.0
		H13 年度	H23 年度	H28 年度	R3 年度
経常収支比率	%	89.3	95.8	99.1	85.0
		H14 年度	H23 年度	R2 年度	R4 年度

※平成 23 年に実施した第 28 回市政総合世論調査までは「仕事の能率が良い」という項目を参照している。

**【事業一覧】** ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 行政運営			
10-1	行財政改革推進事業	(1)	
10-2	公民連携の推進 <span style="float: right;">【新規】</span>	(1)	●
2. 情報推進・活用			
10-3	業務システムの最適化	(1)	
10-4	地域の魅力発信事業	(2)	●
3. 公共施設保全・整備			
10-5	公共施設等マネジメント事業	(1)	●
4. 健全財政			

※公共施設等マネジメント事業(10-5)の事業費については、各施設所管課経費に含まれるため「-」で表記

事業番号	10-1	事業名	行財政改革推進事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市行財政改革推進委員会の開催（4回）</li> <li>・行政評価の実施</li> </ul>		<p>コロナ禍により、開催回数は減ったものの、青梅市行財政改革推進委員会を2回開催し、青梅市の行財政運営に関する意見交換を実施した。行政評価については、前年度同様、28事業に対して実施した。（237千円）</p>		<p>委員会では、令和元年度に実施した外部評価結果に対する報告書を作成し、市長に報告した。行財政改革の取組では、押印見直し指針にもとづき、各課の申請書等1,515件について押印を廃止した。</p>

事業番号	10-2	事業名	公民連携の推進【新規】	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想提案事業の募集、推進</li> <li>・民間提案事業の募集、</li> </ul>		<p>本庁舎1階の窓口受付システムを、公民連携事業により更新した。また、生活様式の普及促進等に向けた課題解決に資する公民連携事業の支援制度を実施し、4事業に支援を実施した。（3,114千円）</p>		<p>窓口受付システムについては、広告付き自動窓口受付システム機器を導入することにより、経費をかけずに機器更新をすることができた。</p>

事業番号	10-3	事業名	業務システムの最適化	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹系業務システム運用</li> <li>・各業務システム機器の統合、共有化</li> </ul>		<p>基幹系業務システムの運用を行った。セキュリティ関連システム機器について統合を行った。（167,501千円）</p>		<p>基幹系業務システムについて、効率的かつ安定的な運用を図ることができた。基幹系業務システム更新を控え、再リースを行ったことや、システム機器統合により、経費を削減した。</p>

事業番号	10-4	事業名	地域の魅力発信事業	
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）		令和2年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力発信の推進</li> <li>・ふるさと納税の推進など</li> </ul>		<p>OmeBlue クリアファイルを作成し、転入者に対し、おもてなしクーポン券やウォーキングマップとともに配布した。クラウドファンディングの実施や、返礼品の増加および価格の見直しを行った。（14,237千円）</p>		<p>転入者に、青梅の魅力を紹介することができた。ふるさと納税は907件（対前年度+51件）、32,895千円（△1,378千円）、企業版ふるさと納税は11件（+1件）、13,750千円（+9,150千円）だった。</p>

事業番号	10-5	事業名	公共施設等マネジメント事業
令和2年度事業計画		令和2年度取組状況（事業費）	令和2年度事業成果
・公共施設等総合管理計画の推進		<p>青梅市公共施設等総合管理計画推進本部会議を4回開催し、各公共施設の状況を把握するとともに、今後の方向性を協議した。</p> <p>（－）</p>	<p>施設ごとの再編方針に関し、今後の具体的な取組予定について協議するとともに、個別施設計画では、青梅市林道橋個別施設計画および青梅市学校施設個別計画を策定し、計画の推進を図った。</p>

## 重要業績評価指標(KPI)の進ちょく状況

重要業績評価指標(KPI)は、第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、各施策の効果を客観的に検証できる指標として、総合戦略に定めた目標値のことであります。

なお、第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間となっています。

### 【重要業績評価指標(KPI)】

指標(KPI)	単位	第2期総合戦略 開始時点 (基準値)	現状	数値目標
合計特殊出生率		H30	R1	R6年度
		1.08	1.16	1.32
出生数	人	H30	R2	R6年度
		669人	664人	735人
25歳～39歳人口	人	R1年度	R2年度	R6年度
		19,662人	19,095人	18,560人
「全国学力・学習状況調査」における各教科の平均正答率		R1年度	R2年度	R6年度
		平均を下回っている	平均を下回っている	平均を上回る
法人市民税 (現年課税分・調定額)	円	H30年度	R2年度	R6年度
		1,077,625,600円	898,247,000円	1,300,000,000円
製造品出荷額	円	H30年度	R2年度	R6年度
		1,862億324万円	1,888億1,634万円	2,234億4,000万円
御岳山年間来訪者数	人	H27年度から令和 元年度見込みの平均	R2年度	R6年度
		464,000人	377,000人	510,000人
空家率	%	H30年度	平成30年度	R5年度
		11.9%	11.9%	10.0%
JR青梅線利用者数 (河辺駅・東青梅駅・青梅駅の乗車人員)〇	人	H30年度	R2年度	R6年度
		26,689人	20,336人	26,900人
自治会加入率 (特別養護老人ホーム等 入所世帯を除いた加入率)	%	R1年度	R2年度	R6年度
		39.6% (41.6%)	38.1% (39.9%)	45% (47%)

※〇は、実施計画で設定したまちづくりの指標と共通の指標

## 施策連動型のしくみ

第6次青梅市総合長期計画では、基本構想に掲げるまちの将来像の実現に向けて、暮らしやすさの視点に立った、青梅らしさを醸し出すまちづくりを戦略的に進めるために、施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)を展開していきます。

施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)は、主要テーマ(安心して暮らせる青梅、子育て世代が住みたい青梅、生きる力がみなぎる青梅、みんなが誇れる青梅、何度も訪れたいくなる青梅)のもとに参画する多様な主体が目標や目的を共有し、まちづくりにおけるそれぞれの役割を認識し、水平的なつながりの中で協力・連携(施策連動)する場として機能します。

### 令和2年度実施計画

#### 令和2年度 ぷらっとフォームを活用した総合長期計画、総合戦略等の推進

- これまでの施策連動型のしくみの活用について検証するとともに、次期総合長期計画の策定に向け、ぷらっとフォームの仕組みの活用を検討する。
- 様々なテーマにもとづいたぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見、アイデアを事業の推進等に反映する。

### 令和2年度取組状況

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、人を集めての開催が困難であったため、自宅からでも参加できるZoomを活用したオンライン版ぷらっとカフェを試行的に開催した。
- 「住み続けたいまち、市外の人が訪れたいまちにするには？」をテーマに開催し、多様な主体の話し合いの場として、まちづくりにおける意見やアイデアを集めた。

### 令和2年度事業成果

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方や日常生活がどのように変化しているかを情報共有するとともに、青梅の良さや課題等について様々な意見を集めることができた。
- 次期総合長期計画策定に向け、市民を含め多様な主体から、青梅に住み続けたいまちづくりについて意見を集めることができた。
- オンライン通話ツールを使った新しい方法でぷらっとカフェを開催し、参加者を集めることができた。

第 6 次青梅市総合長期計画実施計画  
令和 2 年度取組状況報告書

■発行者／青梅市

■発行日／令和 3 (2021)年 9 月

■企画編集／青梅市企画部企画政策課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL : 0428-22-1111(代表)